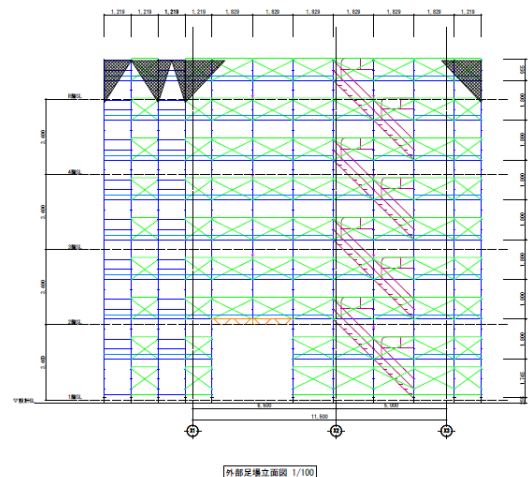
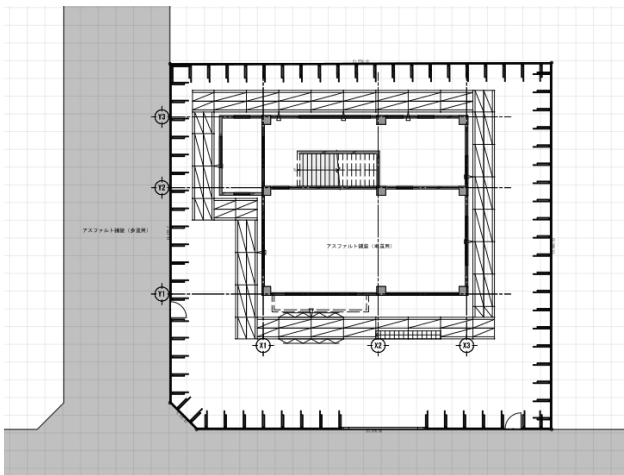
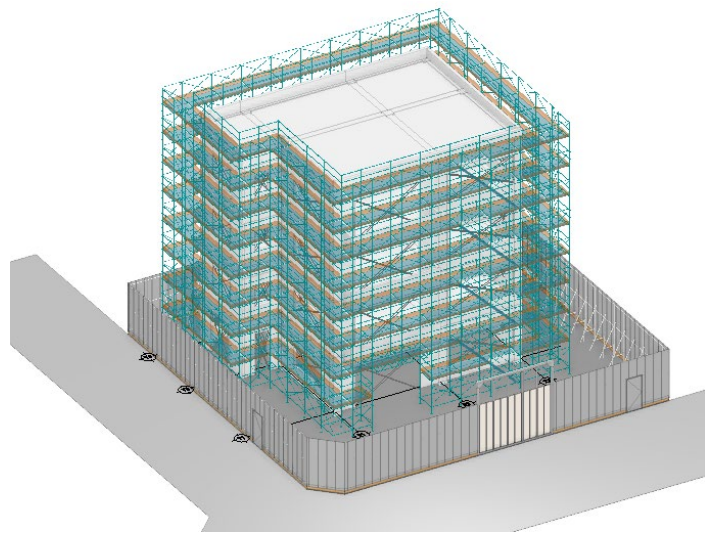


# [ 仮設計画編 ]



# 目次

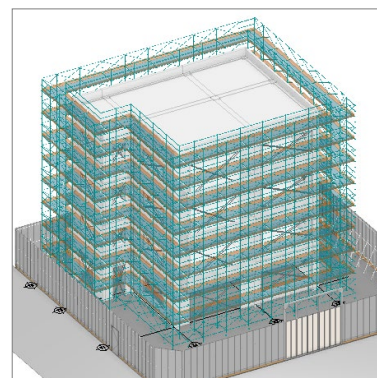
<b>1 足場の入力</b>	<b>3</b>
1-1 躯体データの読み込み	3
1-2 仮囲いの入力	5
1-3 足場の入力	10
<b>2 仮設部材の入力</b>	<b>16</b>
2-1 画面表示の設定	16
2-2 仮設部材の入力	19
<b>3 足場の編集</b>	<b>26</b>
3-1 列の追加・接合	26
<b>4 図面の作成</b>	<b>30</b>
4-1 図面の作成	30
4-2 図面の印刷	34

# 1 足場の入力

GLOBBE Architectの躯体、敷地周辺データを読み込んで、仮囲い、足場を入力しましょう。

※ この章ではくさび式足場を入力していますが、枠組足場を入力することもできます。

※ この章の入力後のデータは「1\_仮設\_足場入力後.GLCM」を参照してください。



## 1-1 躯体データの読み込み

### 躯体データを読み込む

GLOBBE Architectの躯体、敷地周辺データを読み込みます。

- ① 「ホーム」タブをクリックして、「GLOBBE」を選びます。
- ② 「新規プロジェクトとして読み込む」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。
- ③ ファイルを選択して、「開く」をクリックします。
- ④ 読み込むデータにチェックを付けて、「OK」をクリックします。データが読み込まれます。

※ J-BIM 施工図 CADの躯体図データ、IFCデータ、ST-Bridgeファイル (\*.stb \*.xml) も読み込むことができます。



ワークフローは「仮設工事」以外の状態で読み込みます。

① 「ホーム」タブをクリックして、「GLOBBE」を選びます。

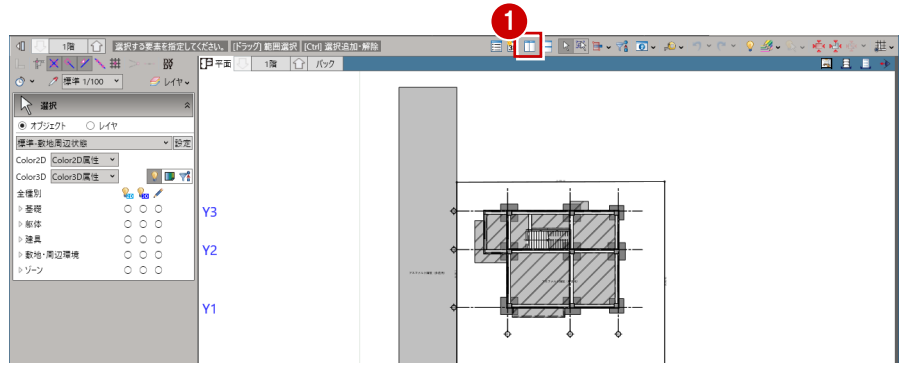
② 「新規プロジェクトとして読み込む」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。

③ ファイルを選択して、「開く」をクリックします。

④ 読み込むデータにチェックを付けて、「OK」をクリックします。データが読み込まれます。

## 3D ビューを確認する

- 1 「左右に並べて表示」をクリックします。  
平面ビューと3D ビューの2画面表示になります。

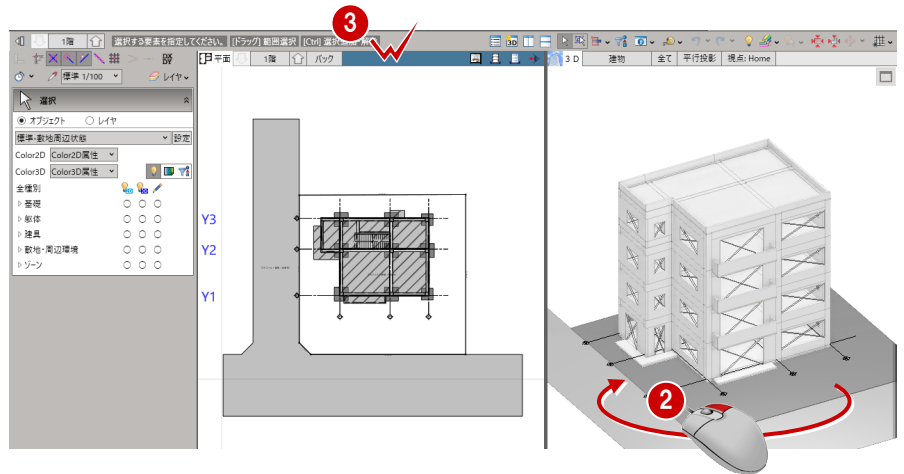


- 2 3D ビューでモデルを確認します。

マウスの右ボタンを押しながらドラッグすると回転、マウスのホイールボタンを押しながらドラッグすると移動が行えます。

- 3 確認が終了したら、平面ビューのツールバーをダブルクリックして最大化表示に戻しておきます。

※ 以降の操作においても、入力したデータを随時 3D ビューで確認しましょう。





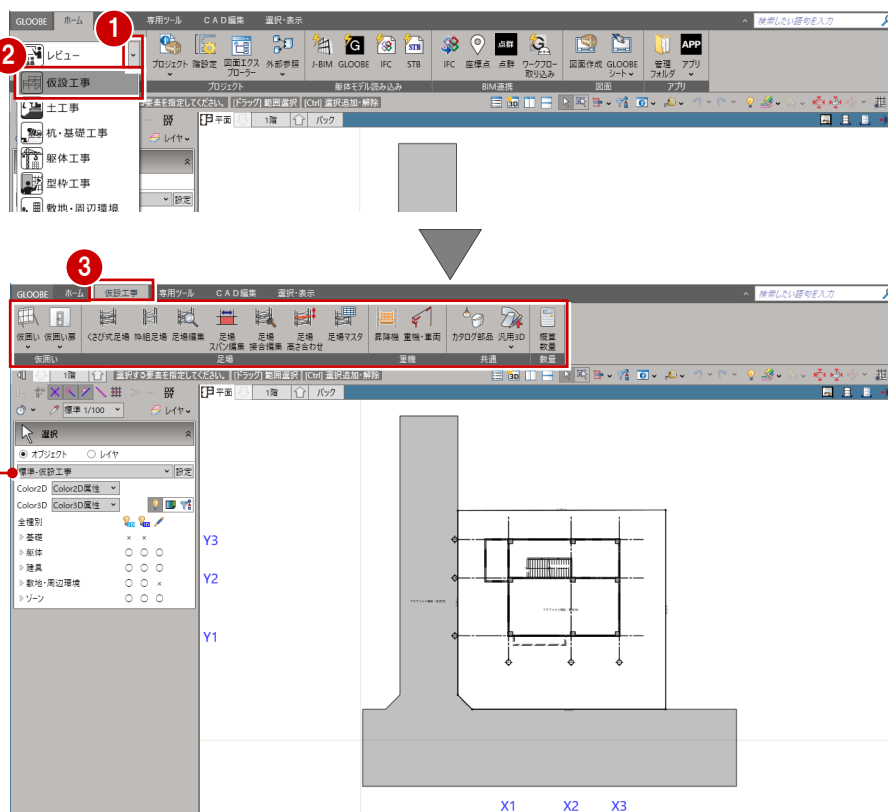
## 1-2 仮囲いの入力

### ワークフローを切り替える

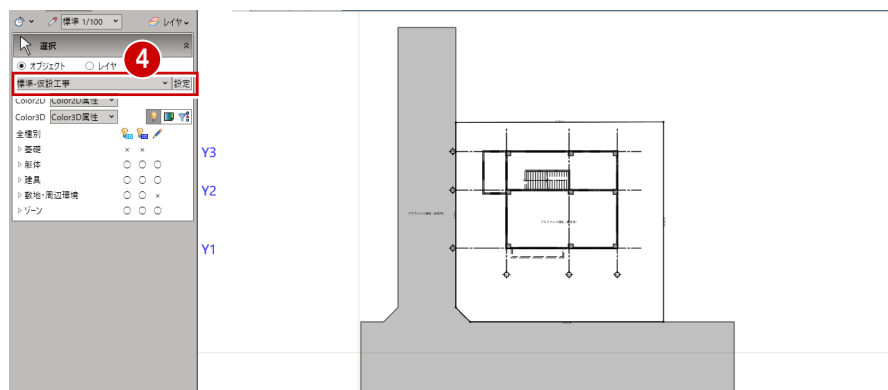
ワークフローを「仮設工事」に切り替えましょう。

- ① ワークフローのプルダウンをクリックします。
- ② 一覧から「仮設工事」を選択します。
- ③ ワークフローが「仮設工事」に切り替わり、「仮設工事」のリボンタブが表示されます。

ワークフローを切り替えると、表示のテンプレートも切り替わります。

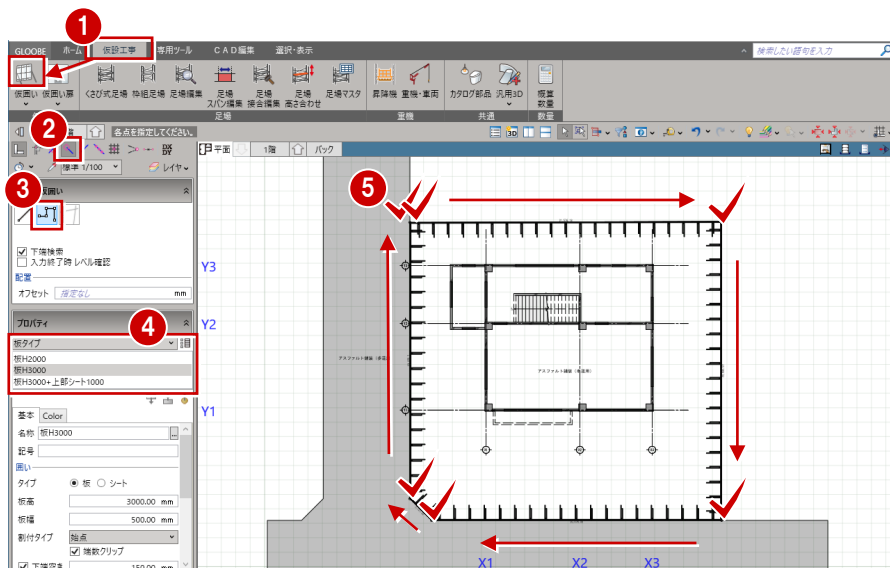


- ④ ここでは、表示テンプレートが「標準 - 仮設工事」であることを確認します。

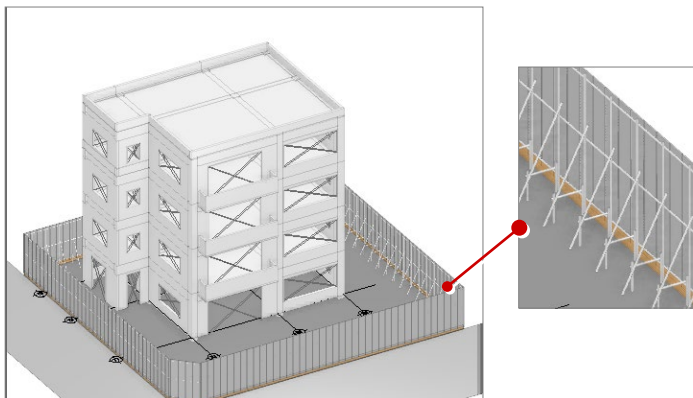
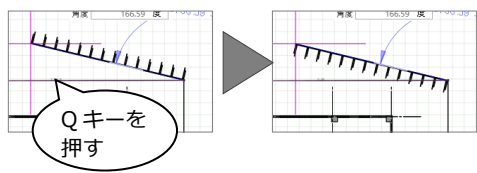


## 仮囲いを入力する

- ① 「仮設工事」タブをクリックして、「仮囲い」を選びます。
- ② ピックモードを「端点」のみ ON にします。
- ③ 入力モードを「連続線」に変更します。
- ④ テンプレートから「板タイプ」の「板 H3000」を選びます。
- ⑤ 敷地の頂点を時計回りにクリックします。  
最後に 1 点目と同じ位置をクリックします。  
仮囲いが入力されます。

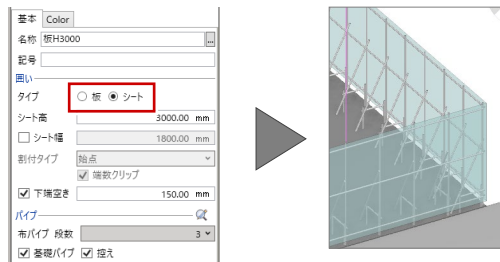


反時計回りで入力する場合は、入力中に「Q」キーを押すと向きを反転することができます。

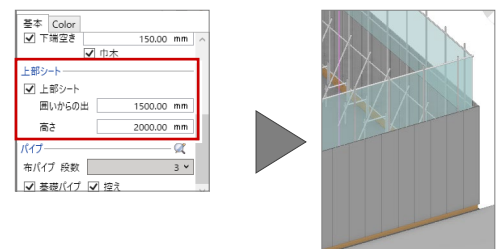


### 仮囲いをシートで囲うには

囲いのタイプを「シート」にします。



板タイプの仮囲いの場合、入力後にプロパティで「上部シート」を ON にすると、仮囲いの上部にシートを取り付けることができます。



## 補足 傾斜地に仮囲いを配置するには

仮囲いを配置するとき、プロパティで「下端検索」をONにして配置します。ONのとき、地盤の高さを検索して下端高さが自動設定されます。

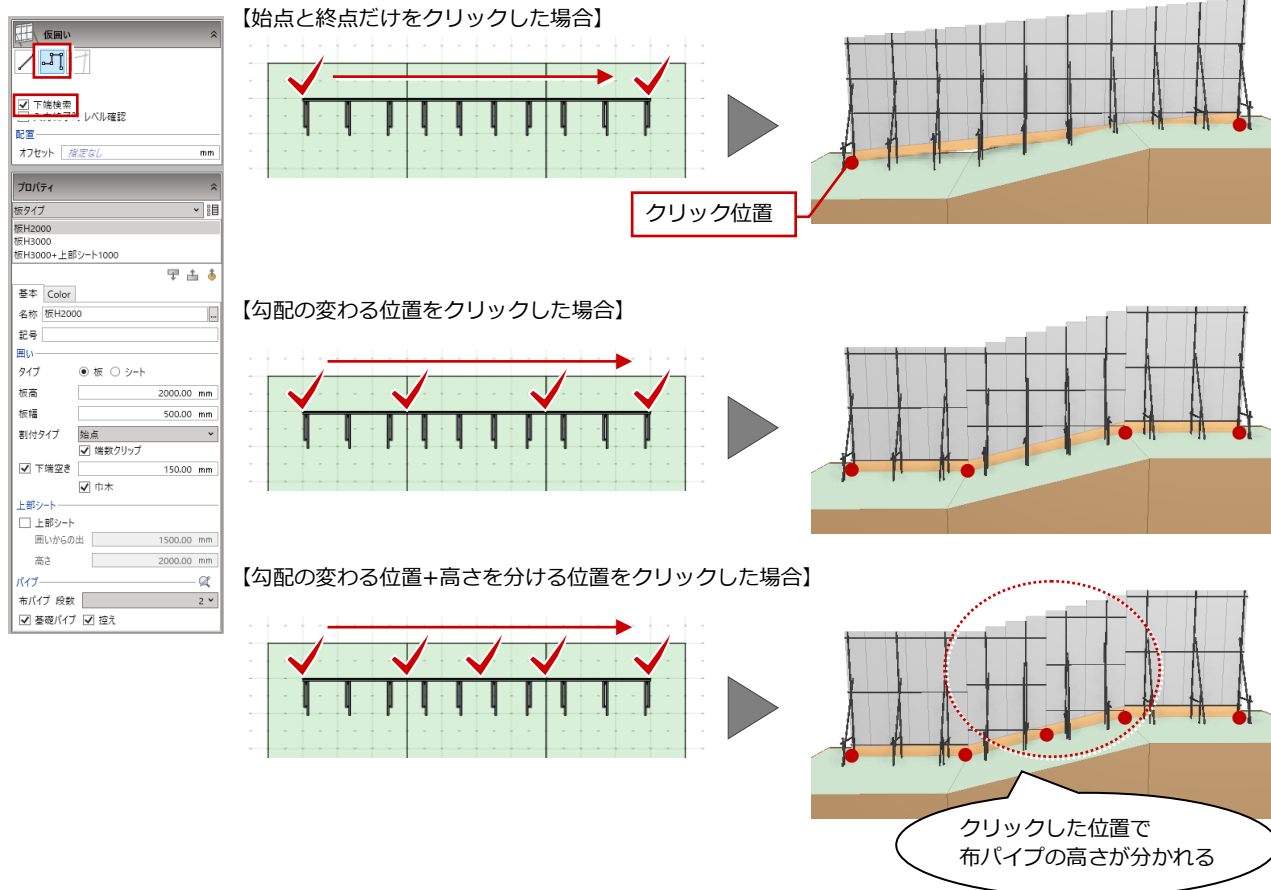
※ 部分的に仮囲いの種類や高さなど設定を変えたい場合は、仮囲いを分割して編集します。

### 【板タイプの場合】

入力モードを「連続線」にして、勾配が変わる位置でクリックします。

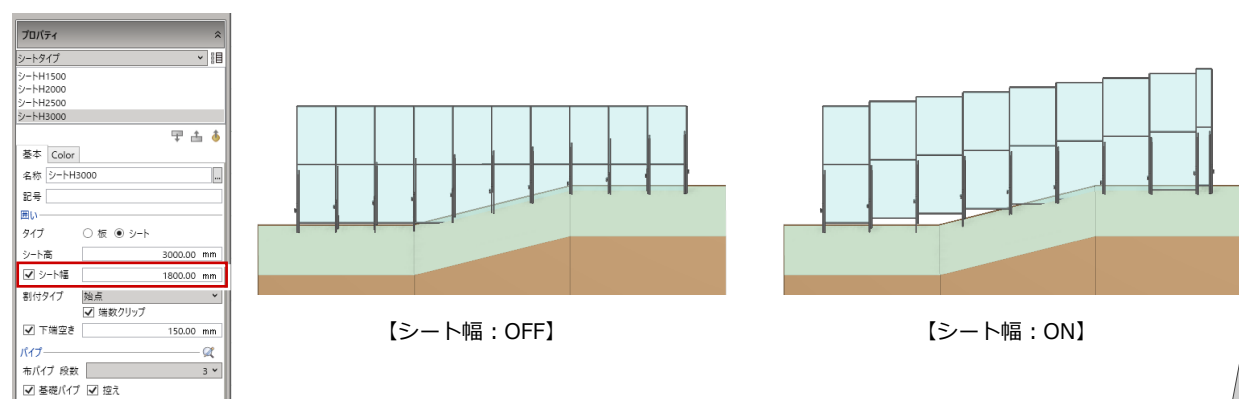
1つの勾配の中で布パイプの高さを分ける場合は、高さを分ける位置でクリックするか、仮囲いの配置後に「CAD編集」の「頂点追加・削除」で分ける位置に頂点を追加します。

※ 仮囲いの配置後に頂点を追加した場合は、プロパティの「高さ」タブで支柱下端高を調節してください。



### 【シートタイプの場合】

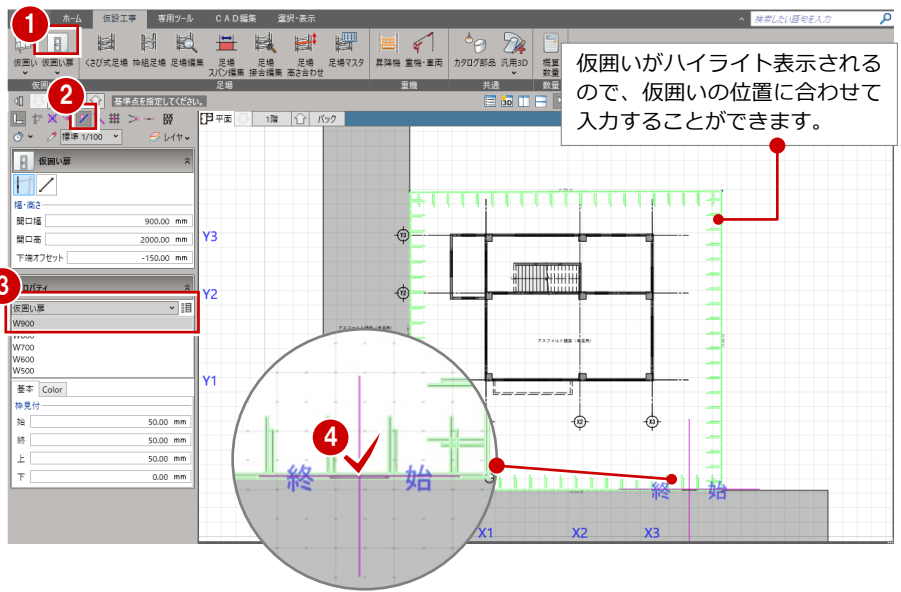
入力時、または入力後のプロパティで「シート幅」をONにしてシート幅を設定します。



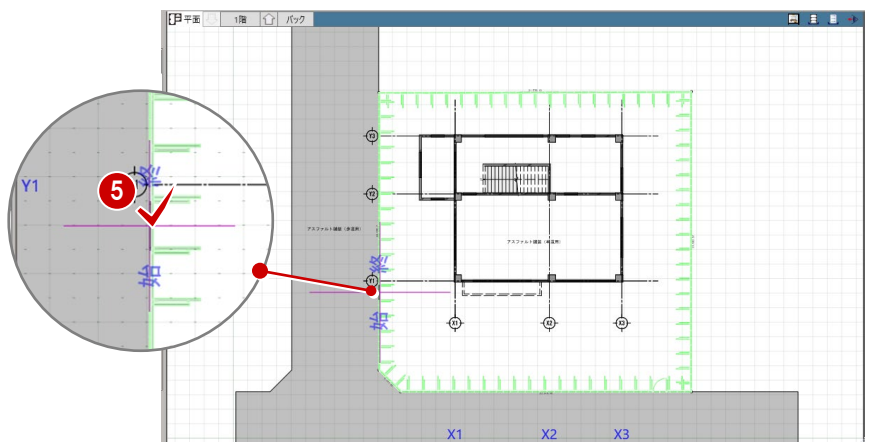
# 1 足場の入力

## 仮囲い扉を入力する

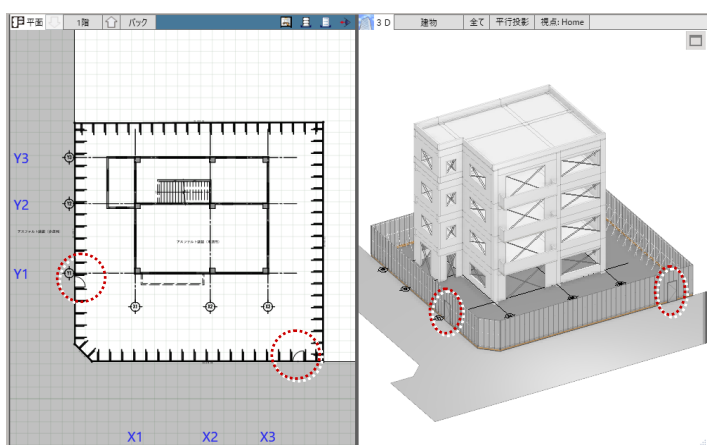
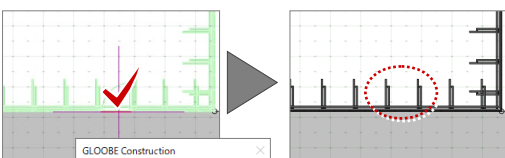
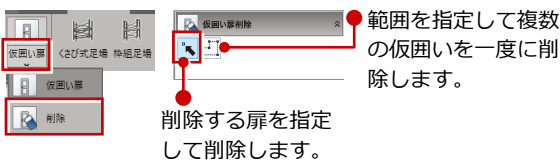
- 1 「仮囲い扉」をクリックします。
- 2 ピックモードの「線上」をONにします。
- 3 テンプレートから「仮囲い扉」の「W900」を選びます。
- 4 扉を設置する対象の仮囲いがハイライト表示されるので、入力位置をクリックします。



- 5 同様に、もう1か所入力します。

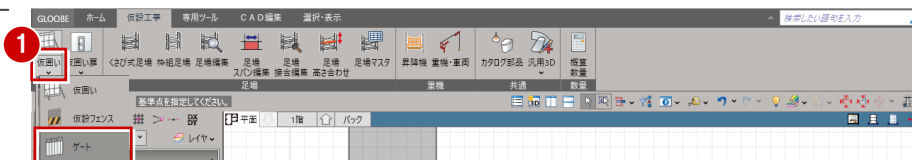


入力した仮囲い扉を削除するには、「仮囲い扉」メニューの「削除」で削除することができます。

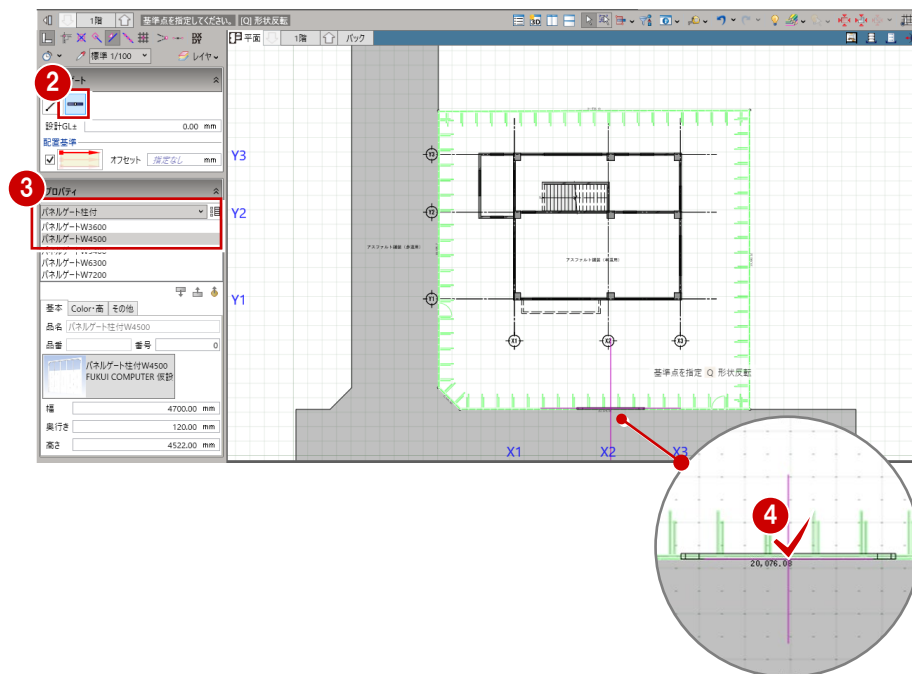


## ゲートを入力する

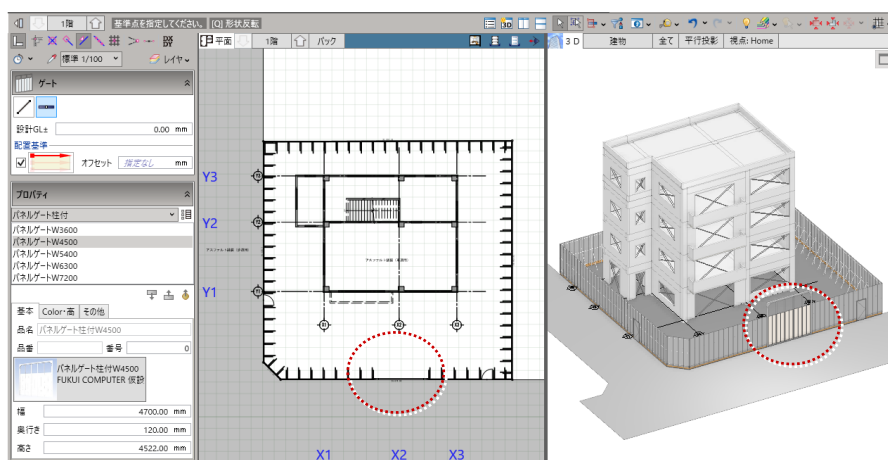
- 1 「仮囲い」メニューから「ゲート」を選びます。



- 2 入力方法を「1点」に変更します。
- 3 テンプレートから「パネルゲート 柱付」の「パネルゲート W4500」を選びます。



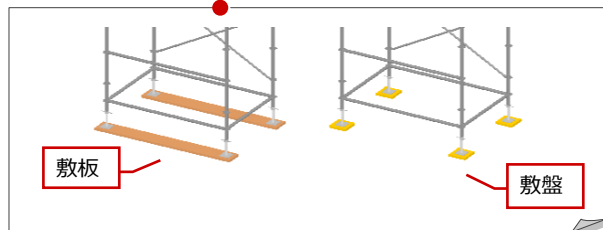
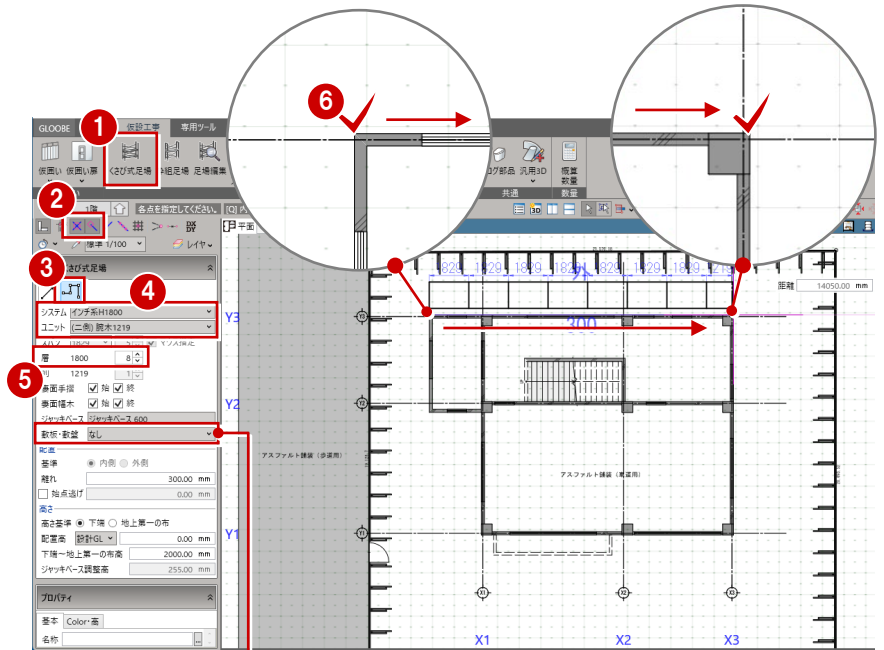
- 4 入力位置をクリックします。



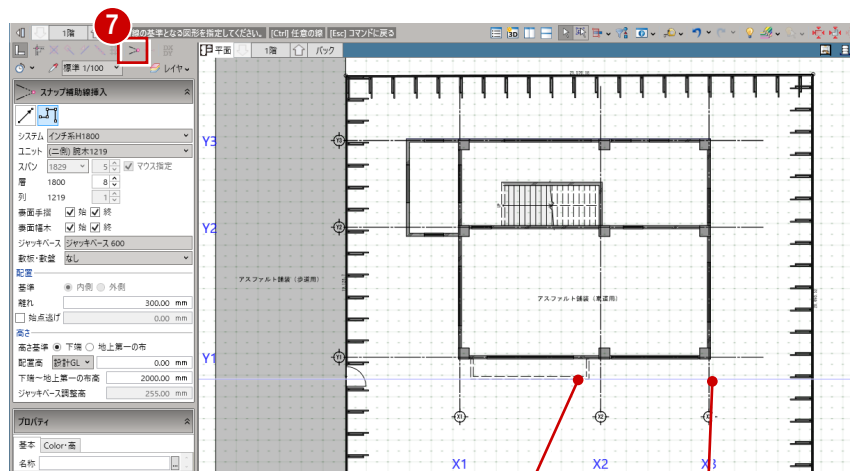
# 1-3 足場の入力

## くさび式足場を入力する

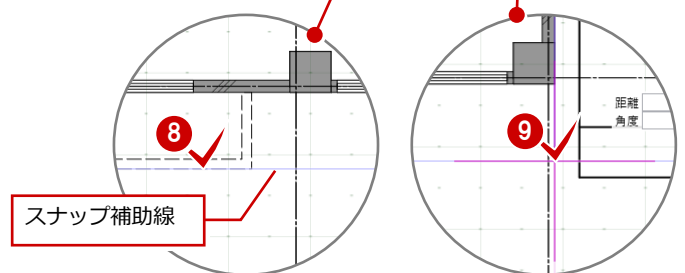
- ① 「くさび式足場」をクリックします。
  - ② ピックモードの「交点」「端点」をONにします。
  - ③ 入力方法を「連続線（離れ自動）」に変更します。
- ※「連続線（離れ自動）」で入力すると、躯体からの離れを300mm以内で自動調整してスパンを割り当てます。
- ④ 「システム」を「インチ系 H1800」、「ユニット」を「(二側) 腕木 1219」に設定します。
- ⇒ ユニットの追加する手順については、P.13 参照
- ⑤ 「層」を「8」に変更します。  
その他、必要に応じて項目を設定します。
  - ⑥ 右図のように、躯体の角をクリックします。



- ⑦ ⑧ 「スナップ補助線」をONにして、バルコニーの外面をクリックして補助線を作成します。
- ⑨ 躯体の面のラインと補助線上の交点をクリックします。

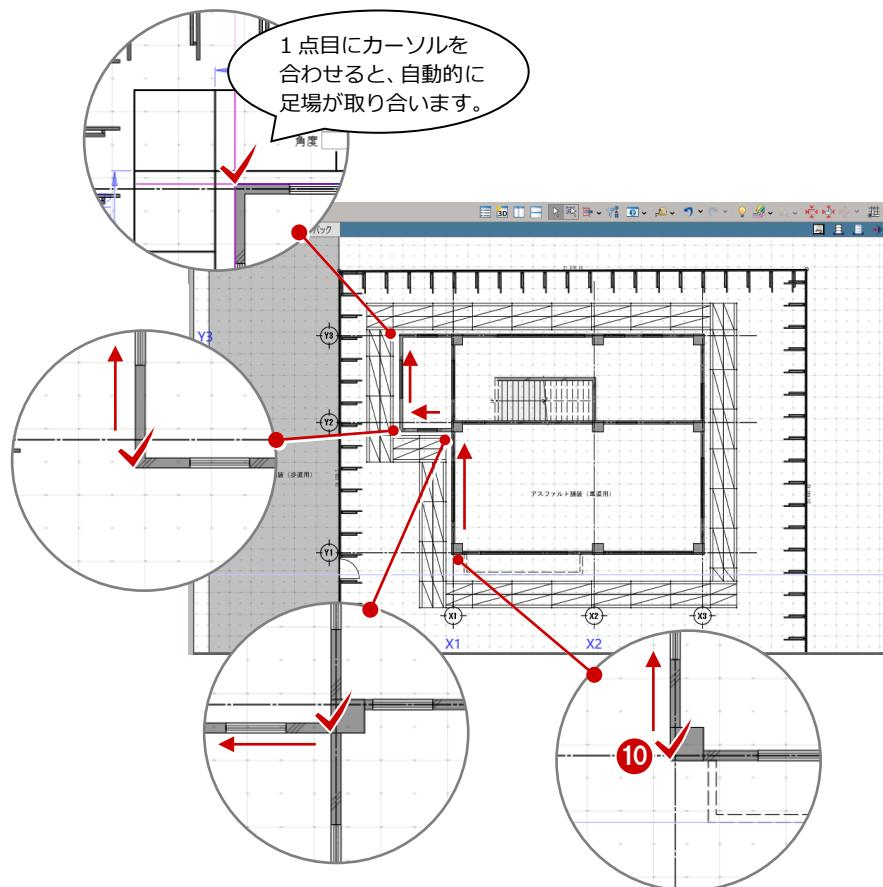


スナップ補助線を利用すると、オブジェクトの入力途中にコマンドを割り込ませて、既存の線の延長上にある点をつかめるようになります。  
アイコンをクリックする他に、Xキーを押しても機能します。

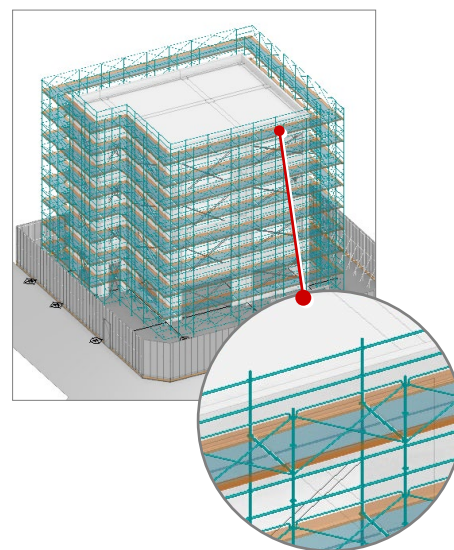
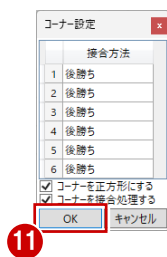
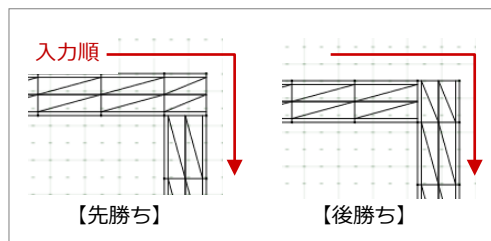




- ⑩ 同様に躯体の角をクリックして、最後に1点目と同じ位置にカーソルを合わせ、足場が取り合う位置でクリックします。



- ⑪ 「コーナー設定」ダイアログでコーナー部分の勝ち負けを設定して「OK」をクリックします。



## 補足 足場マスタを編集する

「足場マスタ」では、足場を構成する各部材の編集や、足場のシステムやユニットの作成・編集を行うことができます。

ツリーからシステムを選択すると、システムのスパンや踏板組み合わせ、ユニットの作成・編集を行うことができます。

⇒ ユニットの追加する手順については、P.13 参照

開いているデータで使用されている足場のシステムにフラグが表示されます。

システム

基本情報

ユニット

ユニットのプレビュー

【足場入力パネル（くさび式）】

システム

ツリーから部材を選択すると、システムの足場を構成している部材を編集することができます。

⇒ 各部材の設定項目など、詳しい解説はヘルプ参照

部材

部材

名称	品番	高さ (mm)	第一くさび高 (mm)	直径 (mm)	接続タイプ	重量 (kg)	色
支柱 3600		3600	395	48.6	ほそあり	11.6	オレンジ
支柱 1800		1800	395	48.6	ほそあり	5.8	緑
支柱 1350		1350	395	48.6	ほそあり	4.4	青
支柱 900		900	395	48.6	ほそあり	2.9	黄
支柱 450		450	395	48.6	ほそあり	1.5	白

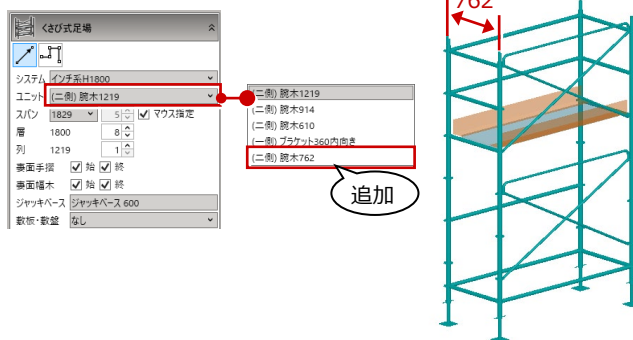
開いているデータで使用されている足場の部材にフラグが表示されます。

3D ビューに表示する色を設定します。



## 補足 ユニットの追加する

ここでは、P.10 で入力した「インチ系 H1800」のシステムに、新たに奥行が 762 のユニットを登録する手順を解説します。



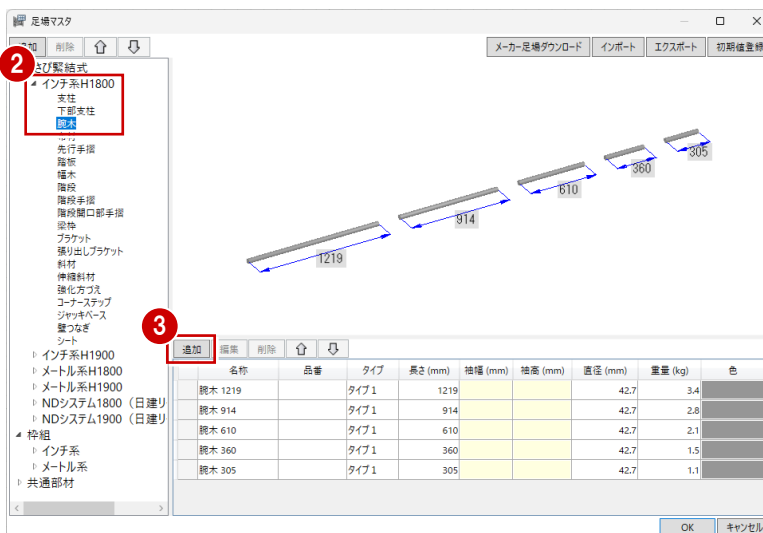
### 腕木を登録する

現在「インチ系 H1800」のシステムには長さ 762 の腕木が登録されていないため、新たに作成して登録します。

- 1 「足場マスタ」をクリックします。
- 2 ツリーから「インチ系 H1800」の「腕木」を選びます。

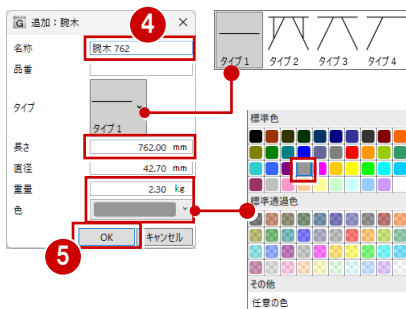


- 3 「追加」をクリックします。



- 4 ここでは以下のように設定します。

名称：腕木 762  
 長さ：762  
 重量：2.30  
 色：標準色の 40%灰色

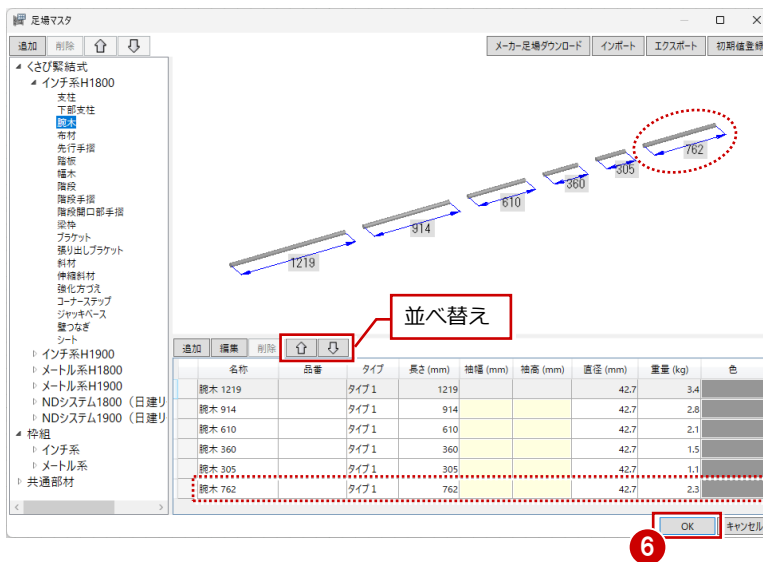


腕木の形状タイプを選択できます。

- 5 「OK」をクリックします。

- 6 一覧に「腕木 762」が追加されたことを確認して「OK」をクリックします。

※ ↑「上へ」 ↓「下へ」で一覧を並べ替えできます。

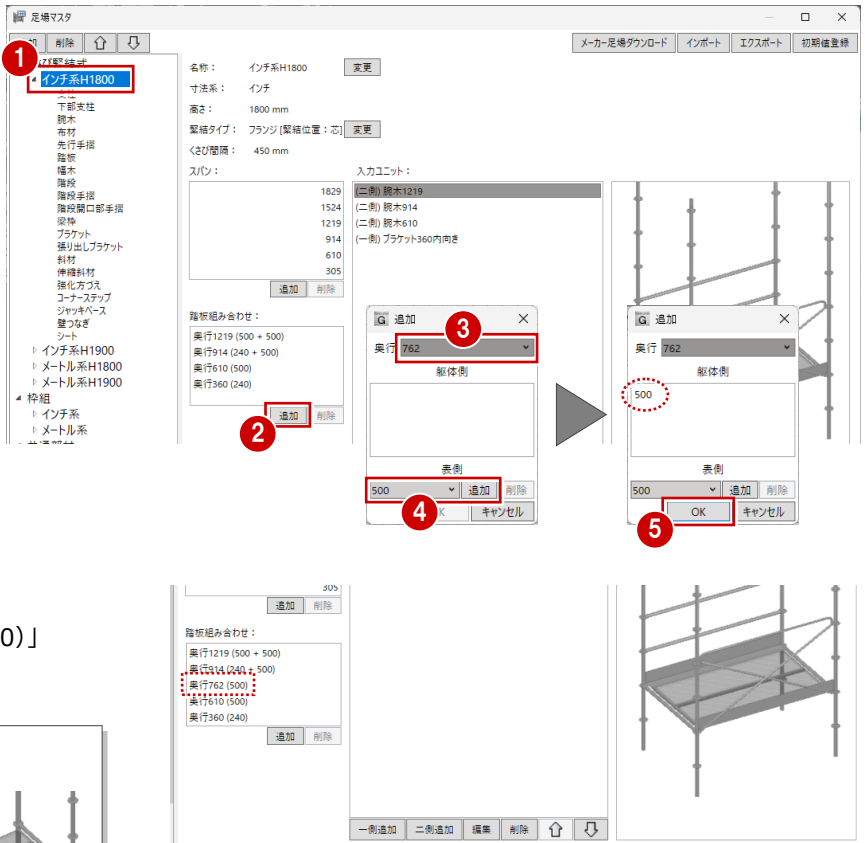
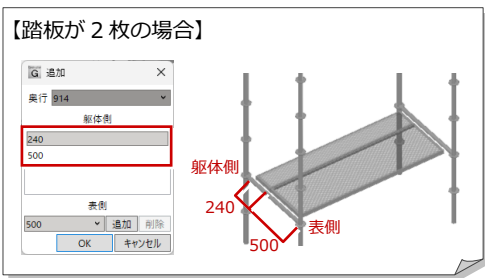


### 踏板組み合わせを登録する

腕木のサイズに応じた、踏板の幅の組み合わせを登録します。

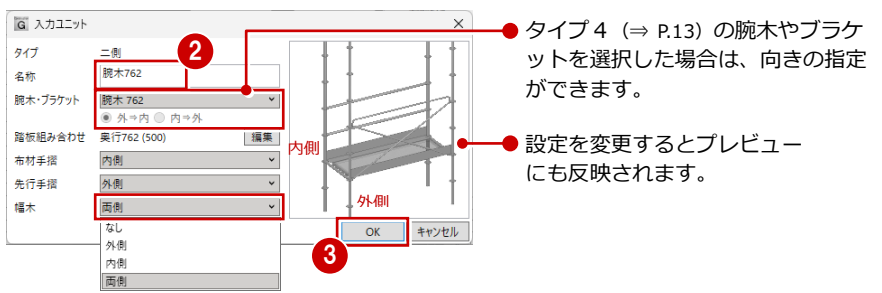
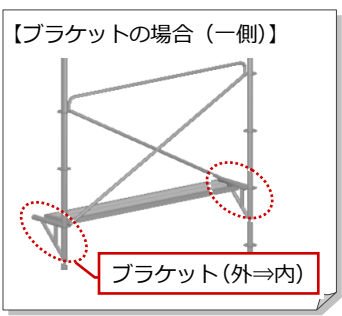
- ① ツリーから「インチ系 H1800」を選びます。
  - ② 「踏板組み合わせ」の「追加」をクリックします。
  - ③ 「奥行」に腕木の長さがリスト表示されるので、「762」を選択します。
  - ④ ここでは、踏板の幅を「500」に設定して追加をクリックします。
- ※ 踏板は複数枚登録することができます。
- ⑤ 500 の踏板が追加されたことを確認して、「OK」をクリックします。

踏板組み合わせの一覧に「奥行 762 (500)」が追加されます。

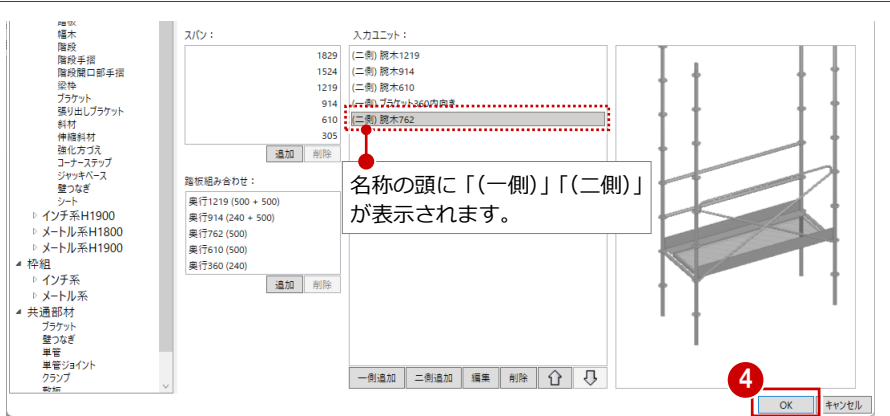


### 部材からユニットを作成する

- ① 「入力ユニット」の「二側追加」をクリックします。
  - ② 「入力ユニット」ダイアログで、以下のように設定します。  
 名称：腕木 762  
 腕木・ブラケット：腕木 762  
 幅木：両側
- ※ 「腕木・ブラケット」を設定すると自動的に「踏板組み合わせ」も設定されます。
- ③ プレビューでユニットを確認して、「OK」をクリックします。



4 一覧にユニットが追加されたことを確認して「OK」をクリックします。

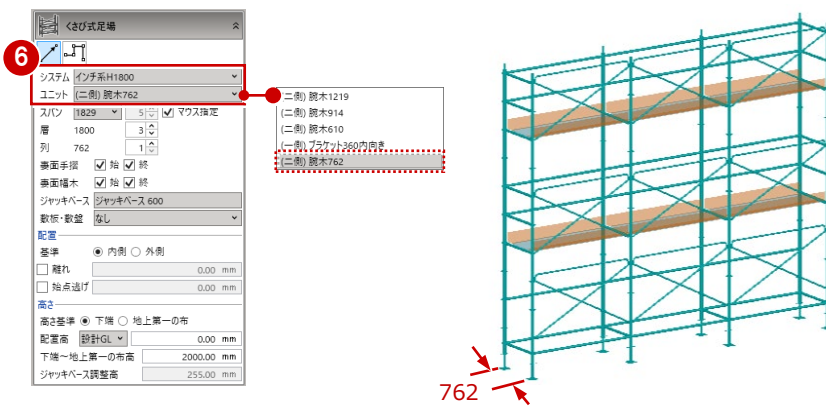


作成したユニットの足場を入力します。

5 「くさび式足場」をクリックします。



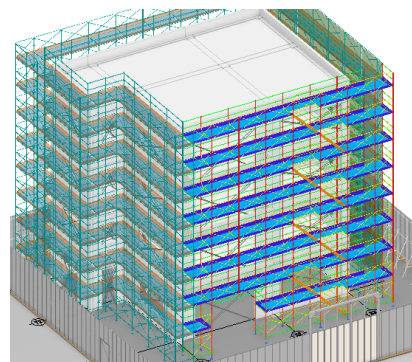
6 システムを「インチ系 H1800」、ユニットを「(二側) 腕木 762」に設定して足場を入力します。



## 2 仮設部材の入力

入力した足場に開口や階段、壁つなぎなど仮設部材を入力していきましょう。

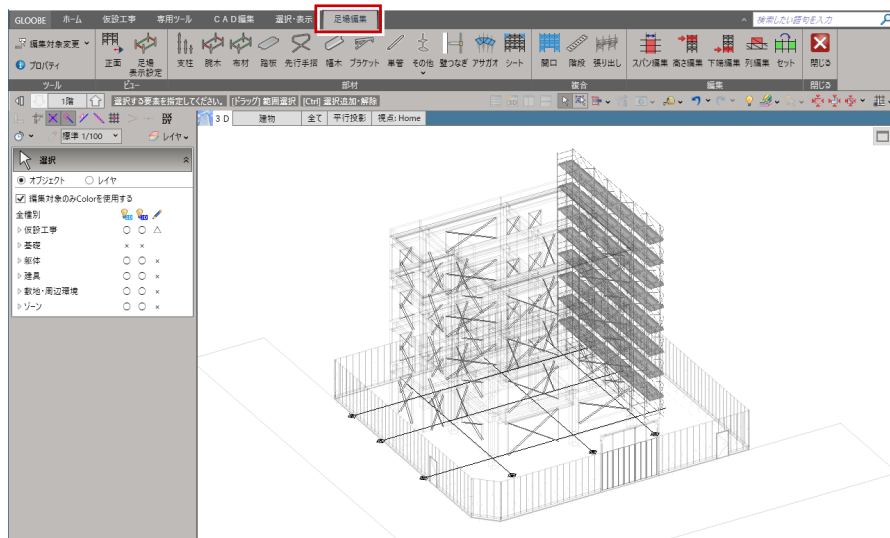
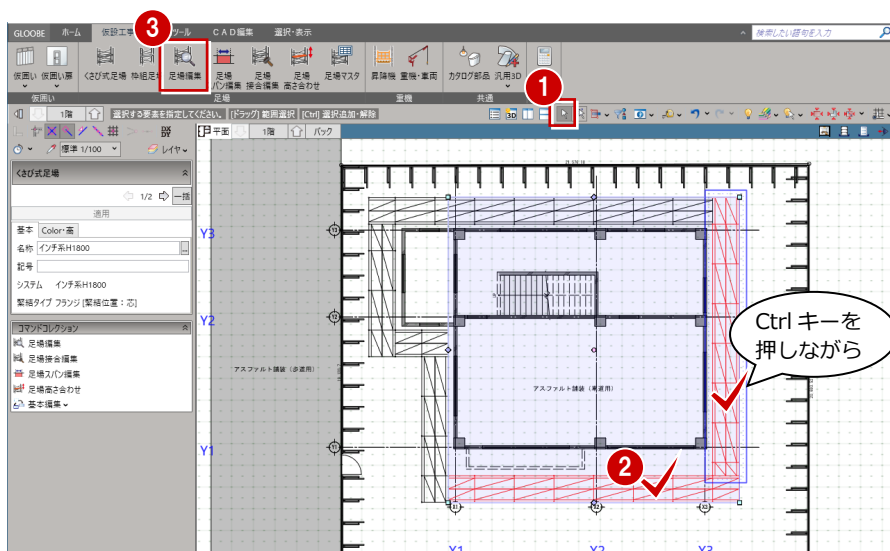
※ この章の入力後のデータは「2\_仮設\_部材入力後.GLCM」を参照してください。



### 2-1 画面表示の設定

#### 足場編集を開く

- ① 「選択」をクリックします。
- ② Ctrl キーを押しながら東側と南側の足場をクリックして、複数選択します。
- ③ 「足場編集」をクリックします。足場編集タブが開き、足場編集専用のコマンドが表示されます。

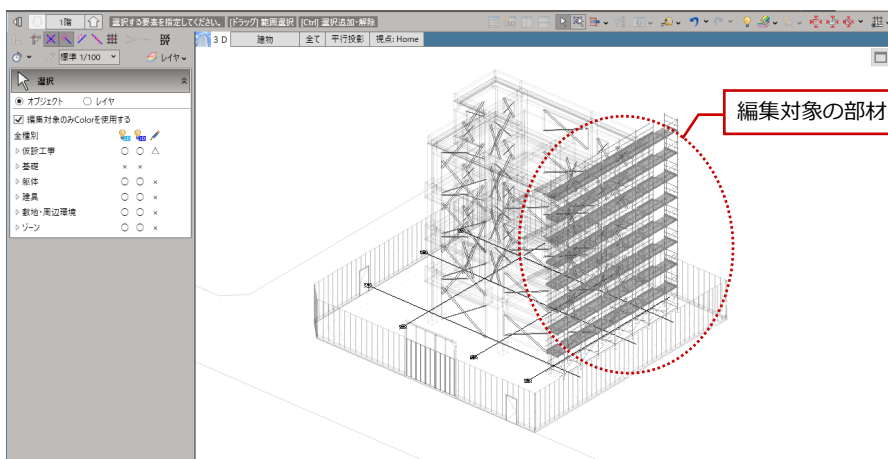


## 表示設定を変更する

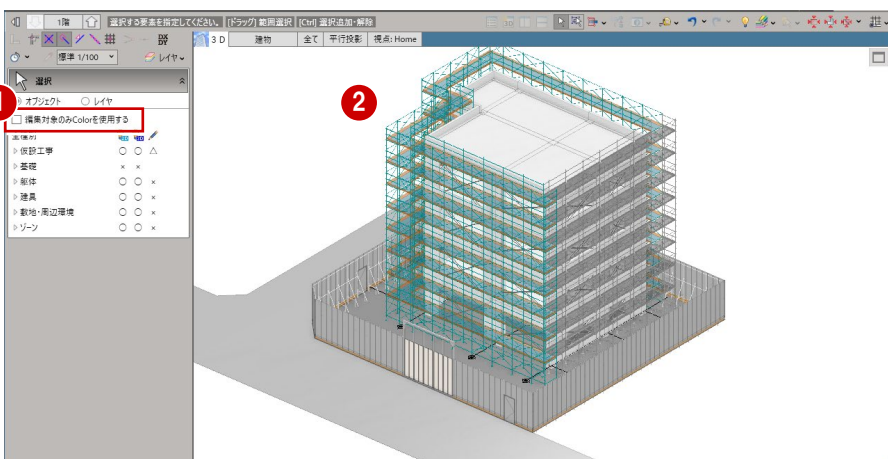
3Dビューで操作がしやすいように、表示設定を変更します。

### 表示対象を変更する

現在編集対象の足場のみ3Dビューに表示されています。コーナー部分など表示されていない他の部材との確認がしやすいように、他の部材も表示させましょう。



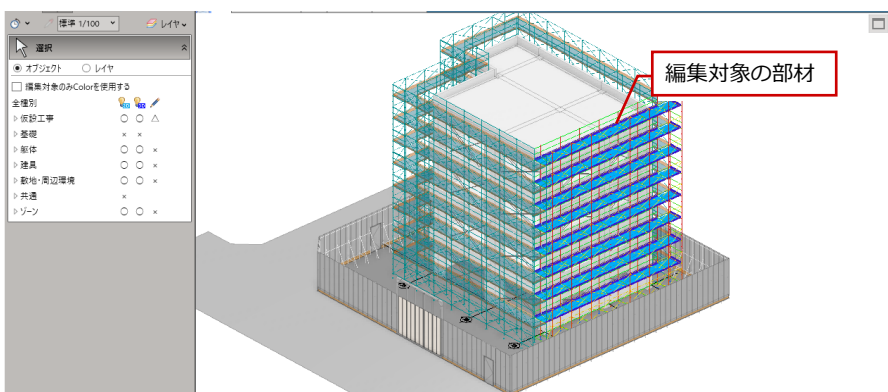
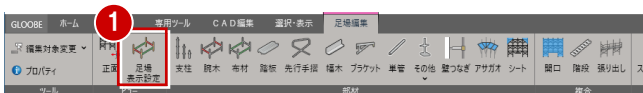
- 1 「編集対象のみ Color を使用する」をOFFにします。
- 2 編集対象の足場以外のデータも表示されるようになります。



### 表示色の設定を変更する

全体の足場の中でも、編集対象となっている足場がわかるように、編集対象の足場の各部材に色を付けて表示しましょう。

- 1 「足場表示設定」をクリックします。
- 2 「一括」をクリックします。  
全ての部材に初期値で設定されている色がセットされます。
- 3 「OK」をクリックします。  
編集対象となっている部材に色が付きます。



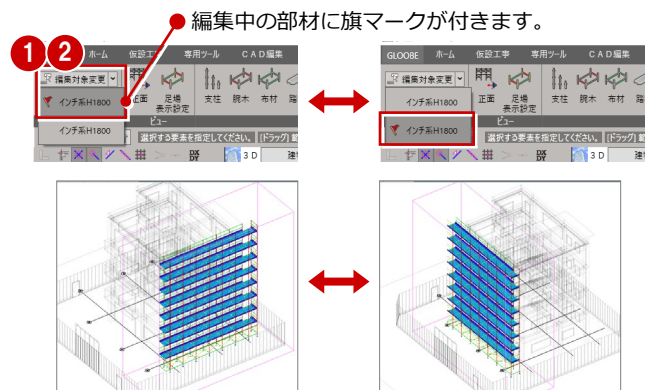


## 編集対象を変更する

編集対象を複数選んだ状態で「足場編集」を開いた場合、「編集対象変更」で対象を切り替えることができます。

### プルダウンから変更する

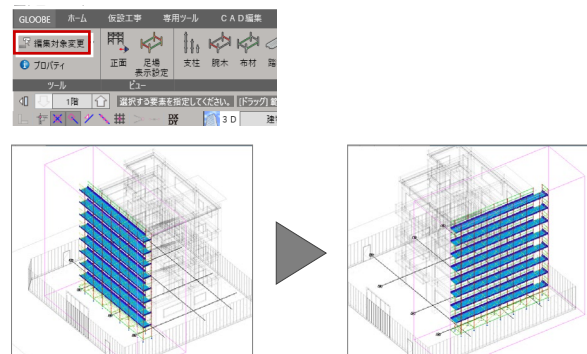
- ① 「編集対象変更」の右の「v」をクリックします。
- ② 一覧から対象とする足場を変更します。



### 「編集対象変更」をクリックして変更する

※ 編集対象が 2 つの場合

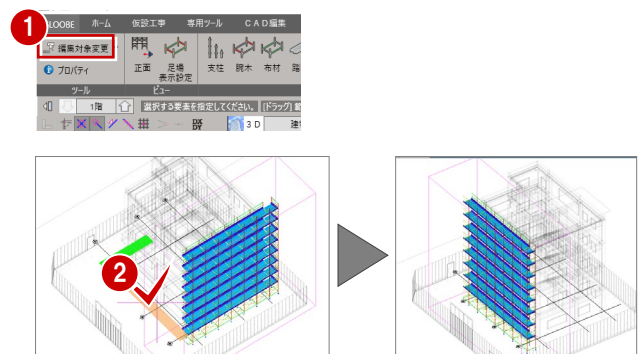
「編集対象変更」をクリックすると、対象部材を切り替えることができます。



### カーソルで対象部材を指定して変更する

※ 編集対象が 3 つ以上の場合

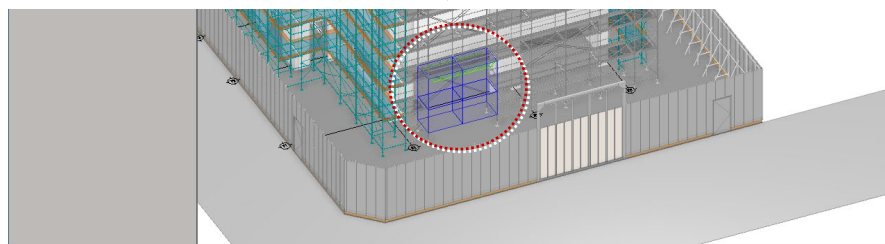
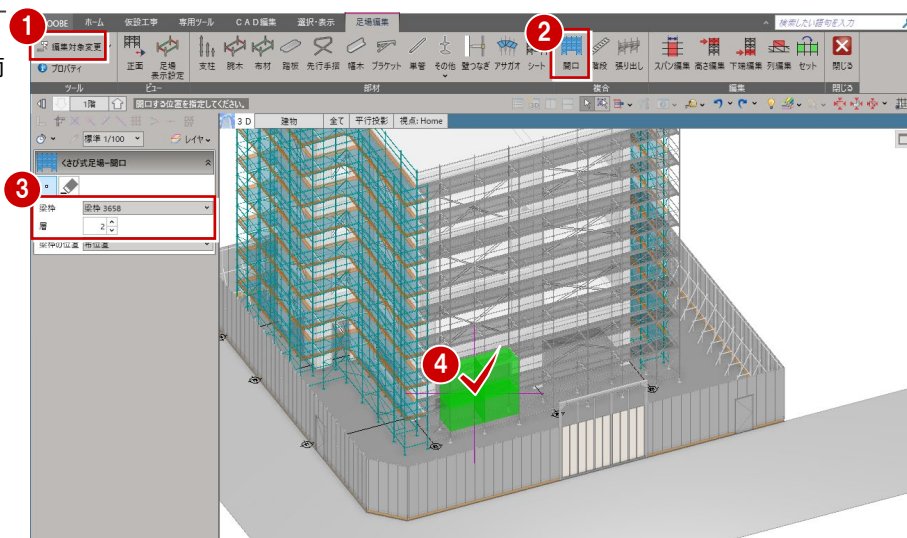
- ① 「編集対象変更」をクリックします。
- ② カーソルを対象とする部材に合わせて、  
■色の表示のときにクリックすると対象が切り替わります。



## 2-2 仮設部材の入力

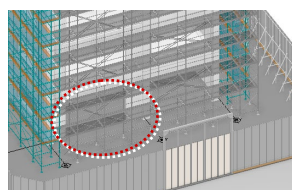
### 開口を入力する

- ① 「編集対象変更」をクリックして、南側の足場を編集対象に変更します。
- ② 「開口」をクリックします。
- ③ 梁枠の長さを「3658」、層の高さを「2」に設定します。
- ④ ボックスに合わせて開口の位置を指定します。



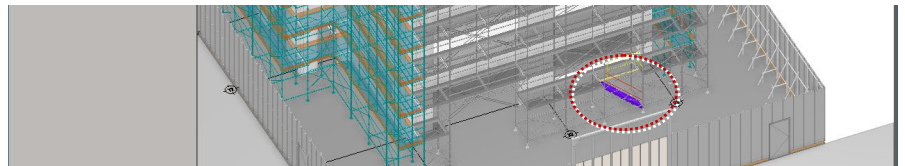
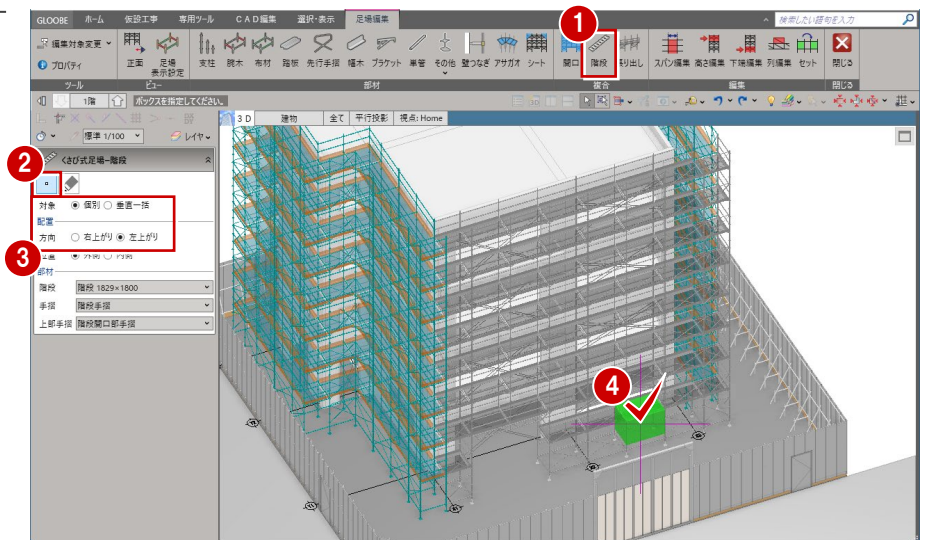
### 開口した部分を元に戻す

開口した部分を元に戻すには、「足場開口解除」をクリックして、元に戻す開口を指定します。

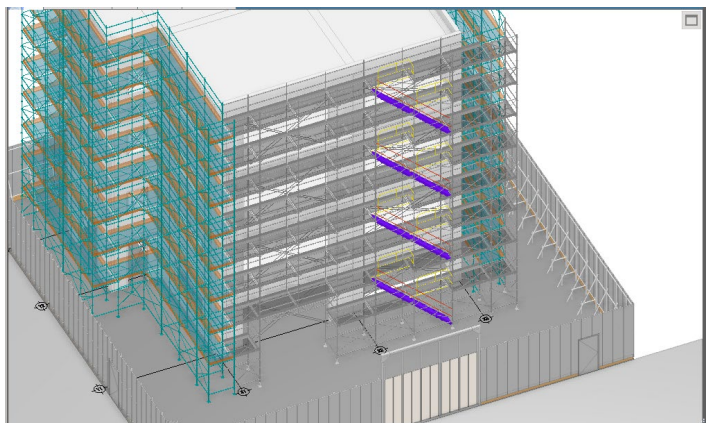
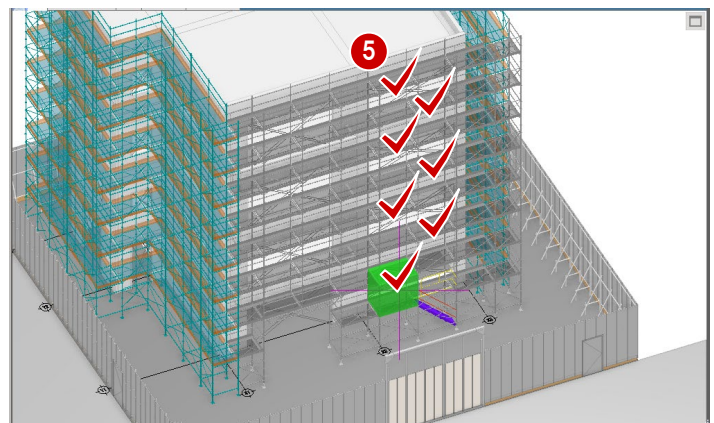


## 階段を入力する

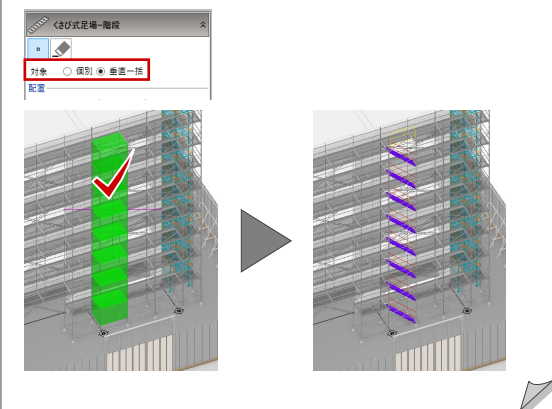
- ① 「階段」をクリックします。
- ② 入力モードが「階段」であることを確認します。
- ③ ここでは「個別」「左上がり」をONにします。
- ④ ボックスの位置に合わせて階段を追加する位置をクリックします。階段が入力されます。



- ⑤ 同様に、右図のように階段を入力します。



「垂直一括」では、各層に同じ向きの階段をまとめて追加することができます。



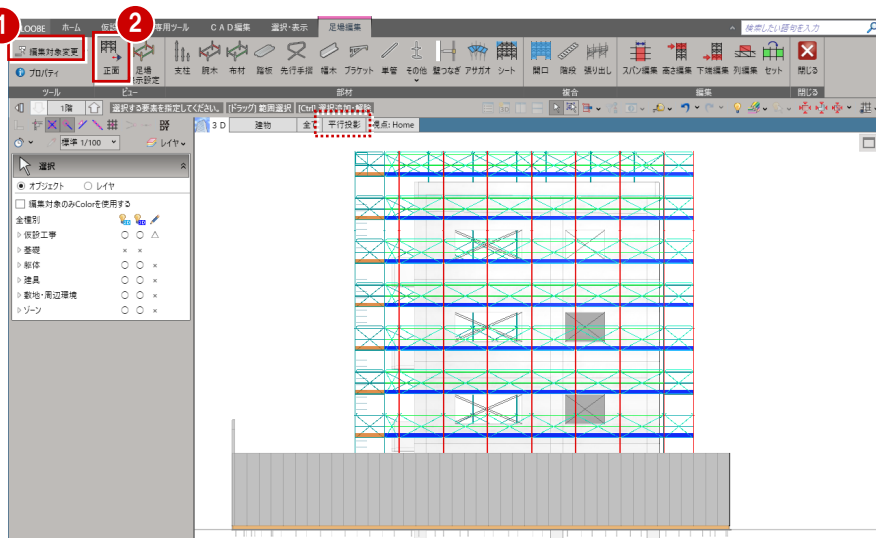


## 壁つなぎを入力する

### 3D ビューの視点を切り替える

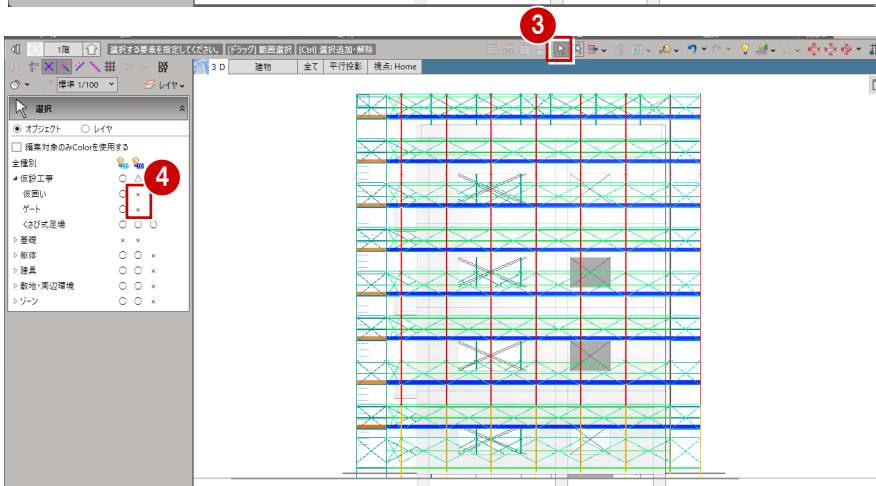
編集する仮設足場外側の正面全体が見えるように 3D ビューの視点を切り替えます。

- 1 「編集対象変更」をクリックして、編集対象を東側の足場に変更します。
- 2 「視点変更（足場正面）」をクリックします。  
3D ビューの描画が「平行投影」に変わり、仮設足場外側の正面全体が見える視点到り替わります。



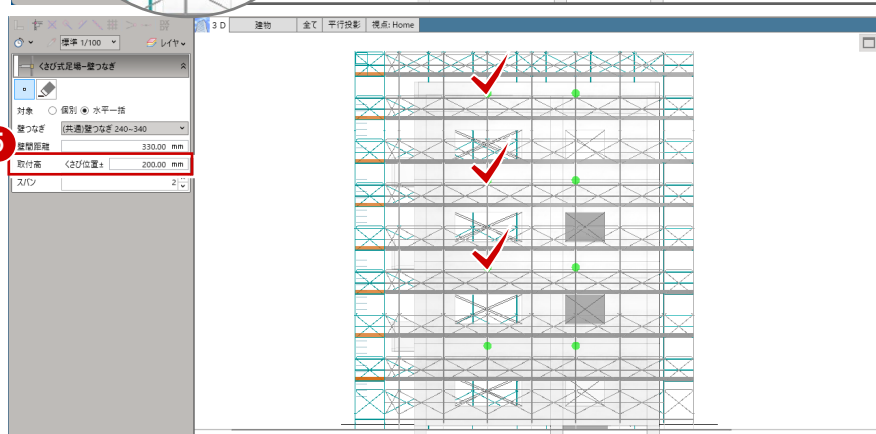
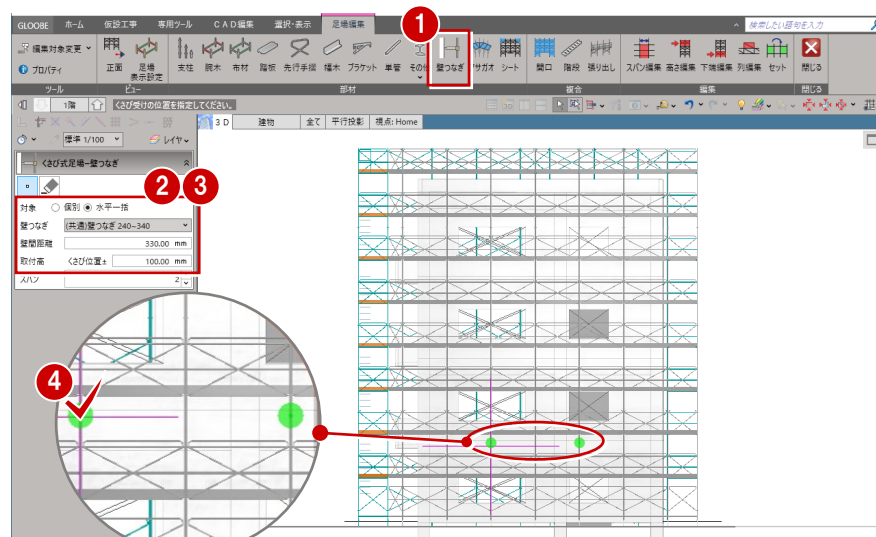
足場全体が見えるように仮囲い、ゲートを非表示にしましょう。

- 3 「選択」をクリックします。
- 4 表示パレットの一覧から、「仮設工事」にある「仮囲い」「ゲート」の 3D 表示を OFF にします。  
仮囲いとゲートが非表示になり、足場全体が見えるようになります。



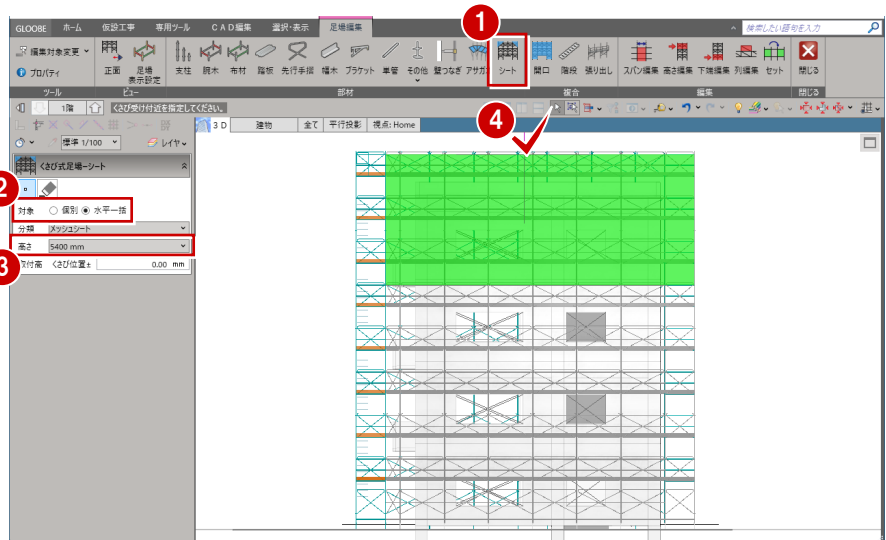
### 壁つなぎを一括入力する

- 1 「壁つなぎ」をクリックします。
- 2 「対象」を「水平一括」に変更します。
- 3 「壁つなぎ」を「(共通) 壁つなぎ 240-340」、「取付高」を「くさび位置 ±100」に変更します。
- 4 右図のように、2 階 SL 付近の壁つなぎを追加する支柱のくさび位置をクリックします。  
横一列に壁つなぎが追加されます。
- 5 同様に、3 階、4 階、R 階の SL 付近は「取付高」を「200」に変更して、手摺のくさびの位置に入力します。

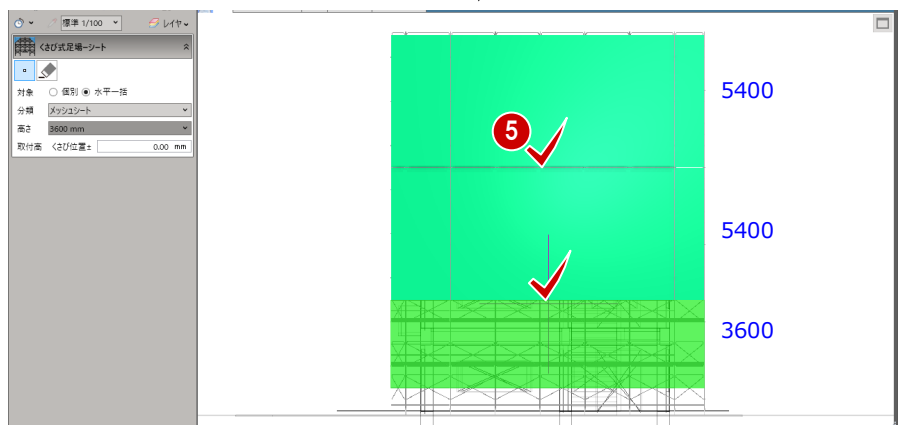
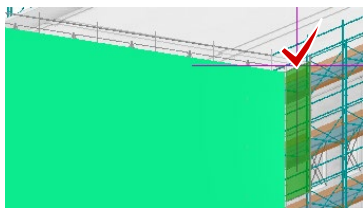


## シートを入力する

- 1 「シート」をクリックします。
- 2 「対象」を「水平一括」に変更します。
- 3 ここでは「高さ」を「5400」に設定します。
- 4 シートを追加するくさびの高さ位置をクリックします。
- 5 同様に、高さや位置を調節しながらシートを入力します。



側面にはシートが追加されていないので、個別で入力が必要です。



## 足場マスタを編集する

「足場マスタ」をクリックすると、足場の各部材の寸法を設定して登録・編集することができます。



開いているデータで使用されている足場のシステムに旗が表示されます。



3Dビューに表示する各部材の色を設定します。

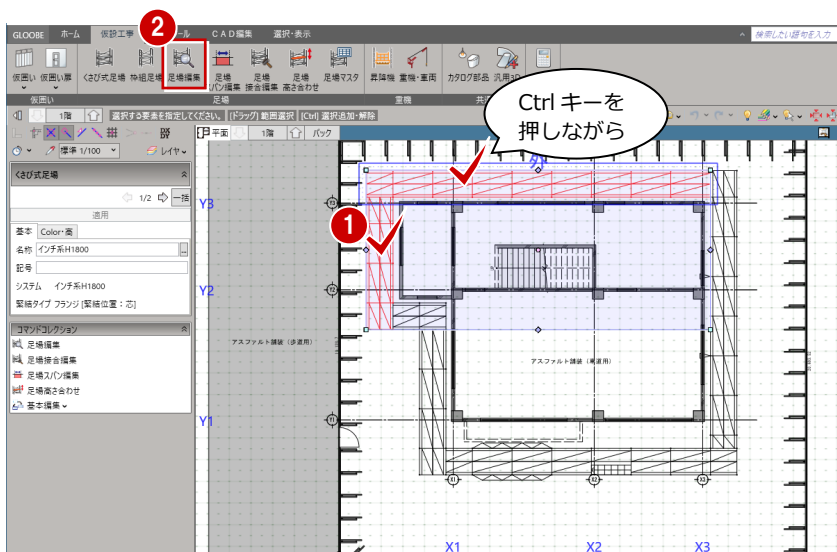
開いているデータで使用されている足場の部材に旗が表示されます。



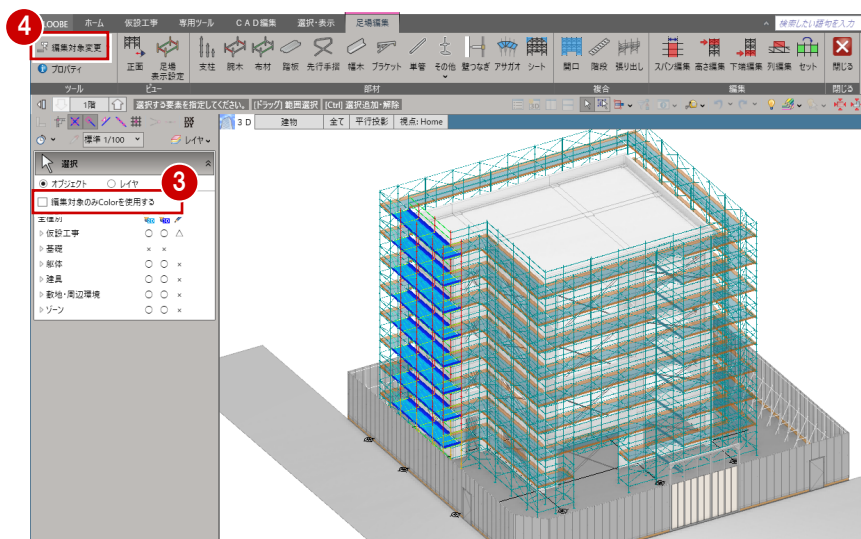
## 補足 アサガオを入力する

GLOOBE Construction では、くさび受けの位置の高さにアサガオを入力することができます。

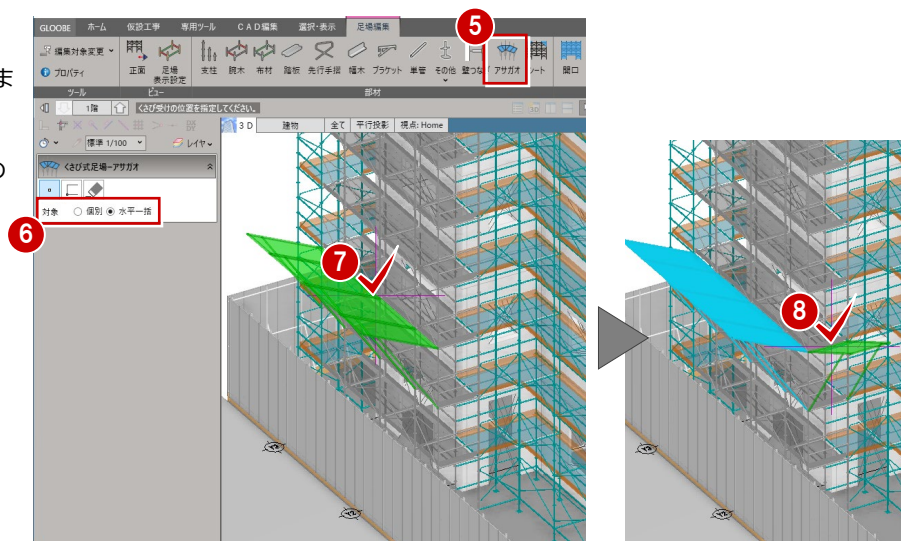
- 1 Ctrl キーを押しながら、右図の足場をクリックして複数選択します。
- 2 「仮設工事」タブの「足場編集」をクリックします。



- 3 「編集対象のみ Color を使用する」を OFF にします。
- 4 「編集対象変更」をクリックして、西側の足場を編集対象にします。



- 5 「アサガオ」をクリックします。
- 6 「対象」を「水平一括」に設定します。
- 7 アサガオを追加するくさび受けの位置をクリックします。
- 8 同様に側面にも追加します。

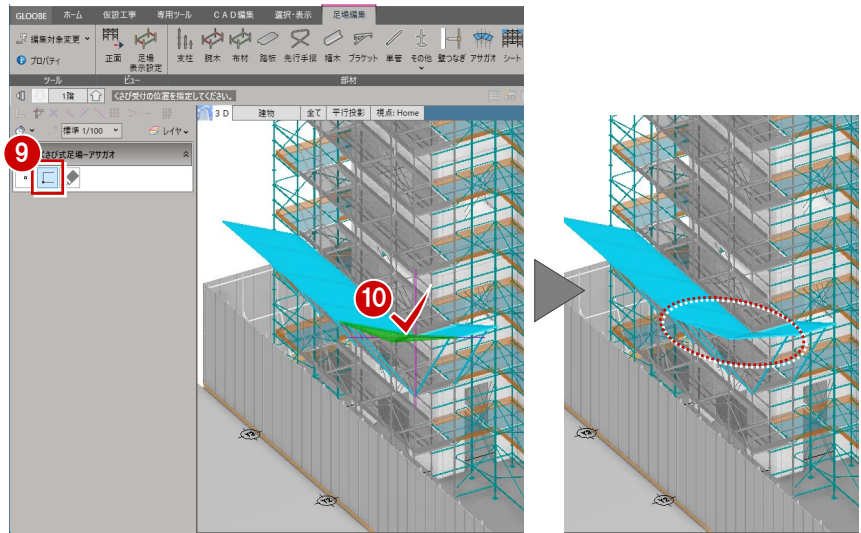




## 2 仮設部材の入力

9 入力モードを「1点（コーナー）」に変更します。

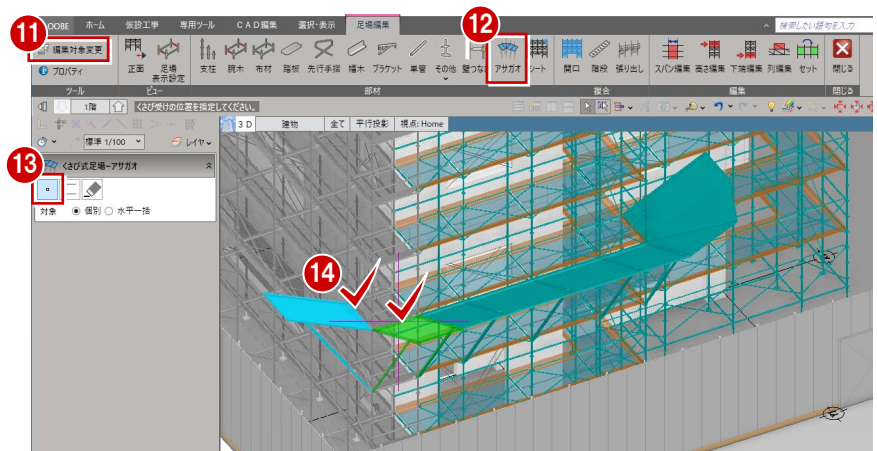
10 コーナー部のくさび受けの位置をクリックします。



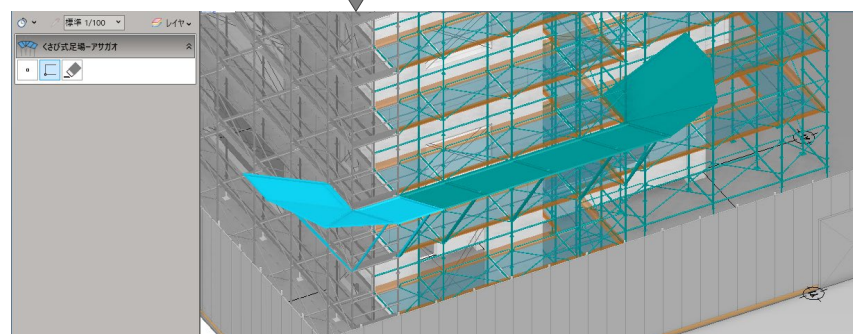
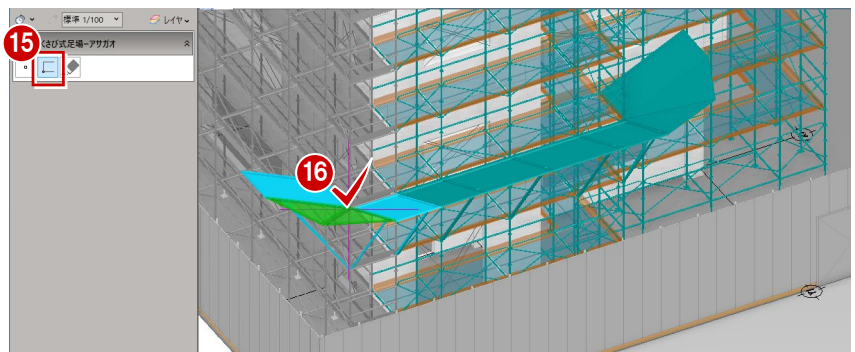
11 「編集対象変更」をクリックして、北側の足場を編集対象にします。

12 「アサガオ」をクリックします。

13 14 入力モードを「1点」、「対象」を「個別」に設定して、右図のように2か所追加します。



15 16 入力モードを「1点（コーナー）」に変更して、コーナーに追加します。

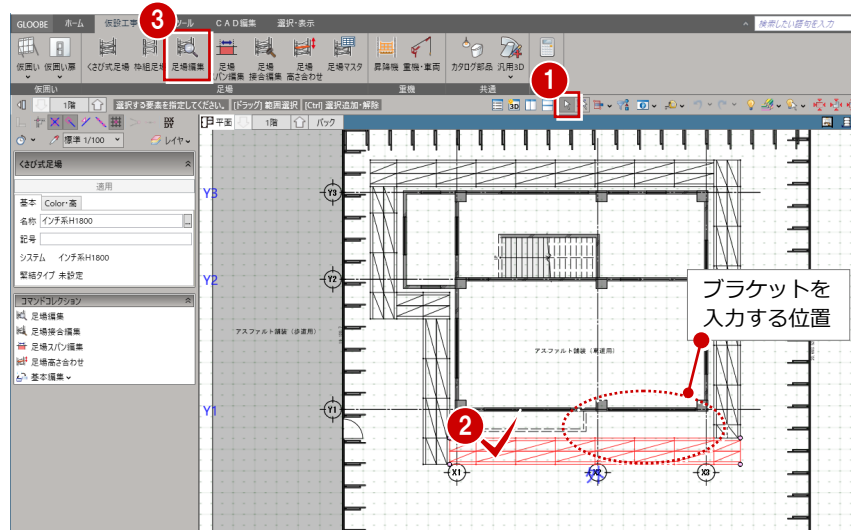


## 補足 ブラケットを入力する

仮設足場の支柱にブラケット、布板を追加します。

①② 南側の足場を選択します。

③ 「足場編集」をクリックします。



④ 「ブラケット」をクリックします。

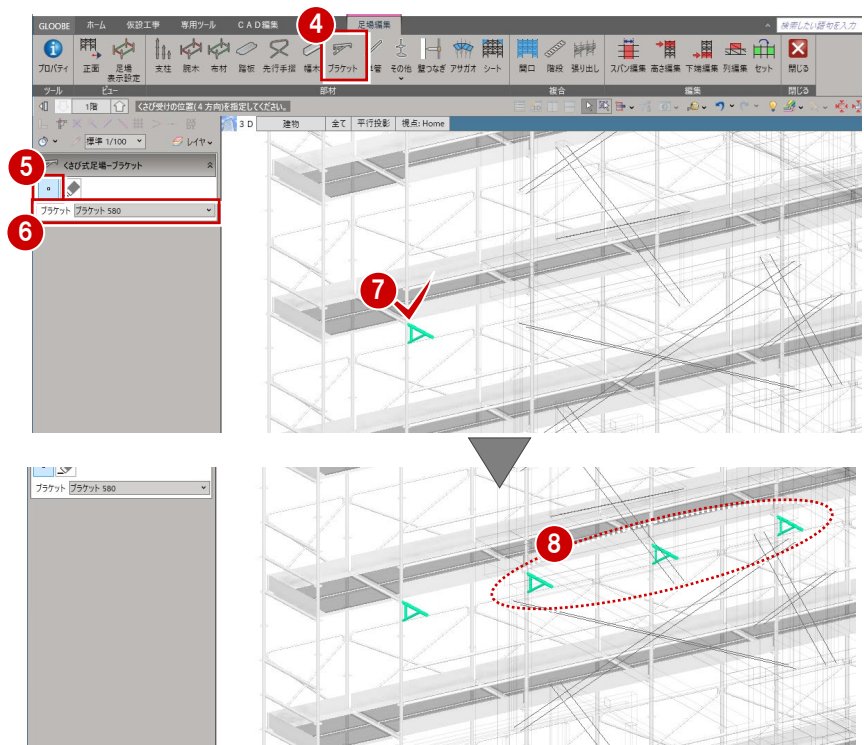
⑤ 入力モードが「1点」であることを確認します。

⑥ 追加するブラケットの仕様を選択します。

⑦ ブラケットを追加するくさびの位置をクリックします。  
支柱のくさび位置に取り付けられます。

※ ブラケットの向きは、支柱から4方向を指定できます。

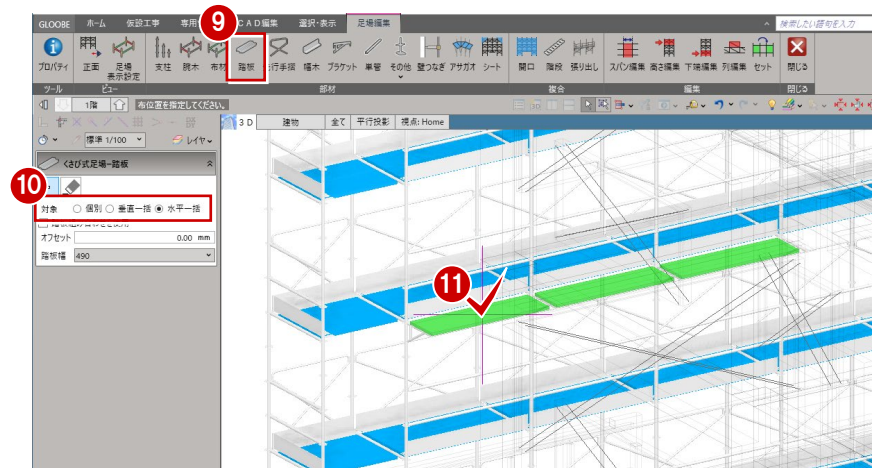
⑧ 同様にブラケットを配置します。



⑨ 「踏板」をクリックします。

⑩ 「対象」を「水平一括」に設定します。

⑪ 追加する位置をクリックします。  
ブラケットの間に踏板が配置されます。

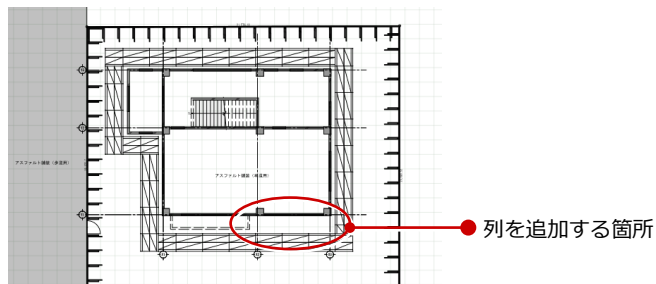




# 3 足場の編集

南側のバルコニーの横に足場を一行追加して、コーナ部の接合編集を行いましょう。

※ 開始用データとして「1\_仮設\_足場入力後.GLCM」を使用しています。  
この章の入力後のデータは「3\_仮設\_足場編集後.GLCM」を参照してください。

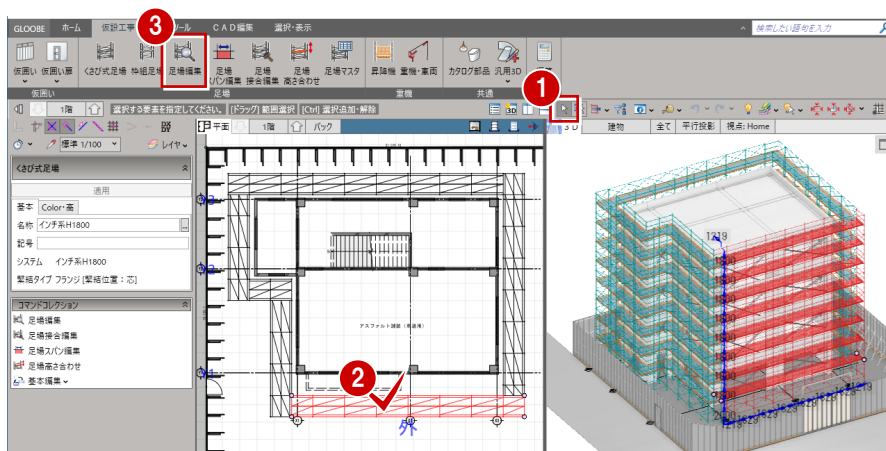


## 3-1 列の追加・接合

### 列を追加する

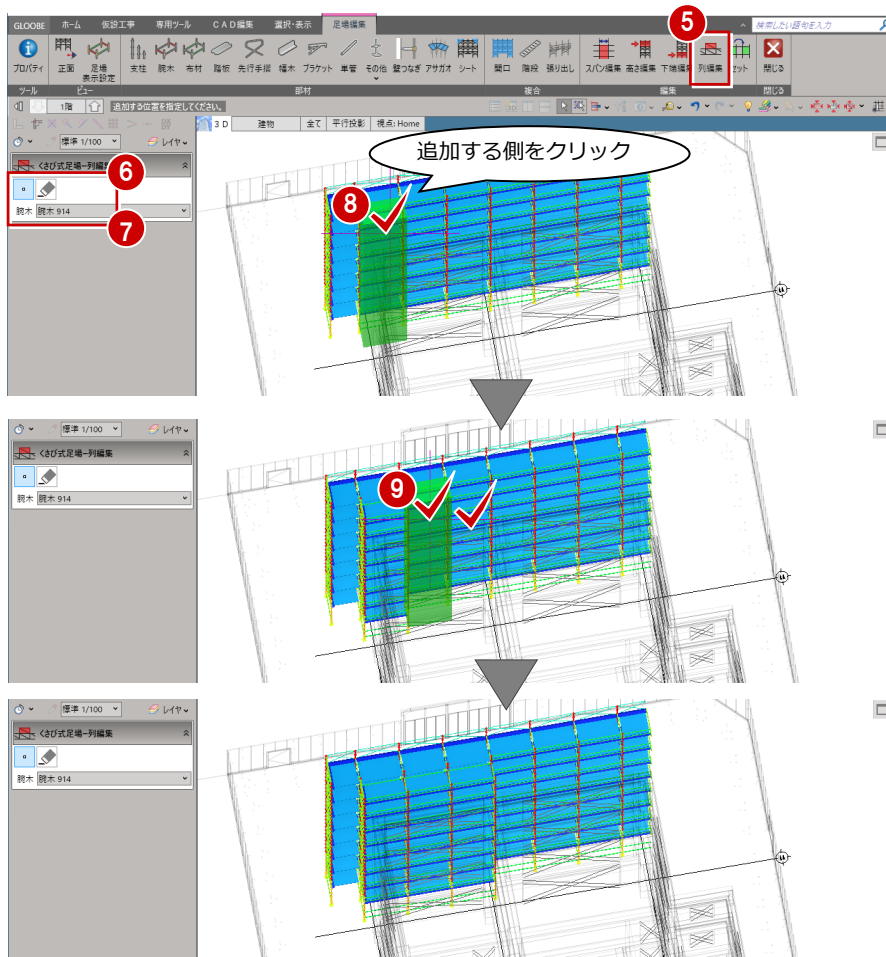
南側のバルコニーの横に、足場を一行追加します。

- ①② 南側の足場を選択します。
- ③ 「足場編集」をクリックします。



- ④ 3D ビューで建物を回転して、足場を追加する側が見える位置に変更します。

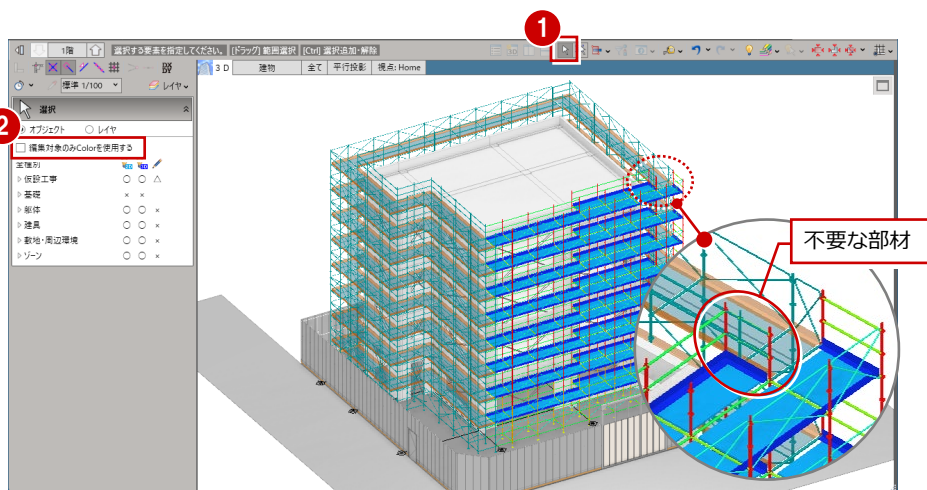
- ⑤ 「列編集」をクリックします。
- ⑥ 入力方法が「1点」であることを確認します。
- ⑦ 「腕木」を「914」に変更します。
- ⑧ 追加する列にカーソルを合わせて、ハイライト表示されている状態でクリックします。  
指定した列に追加されます。
- ⑨ 同様に隣の2列も追加します。



## 足場を接合する

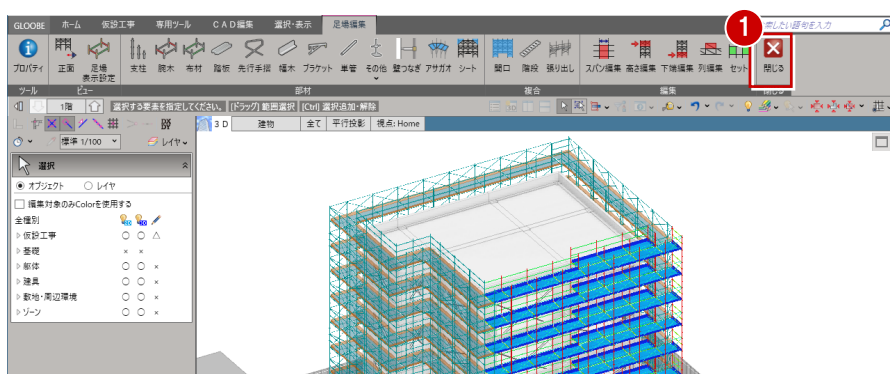
「選択」をクリックして「編集対象のみColorを使用する」をOFFにすると、追加した列と東側の足場のコーナー部に不要な手摺や幅木が作成されていることがわかります。

接合編集を行って、不要な部材を削除しましょう。



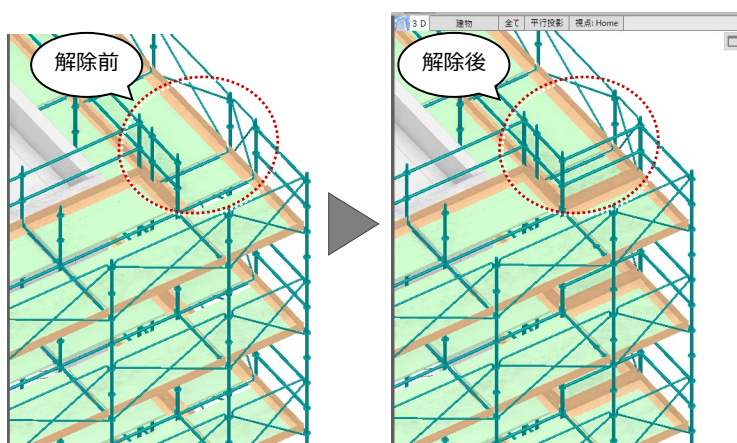
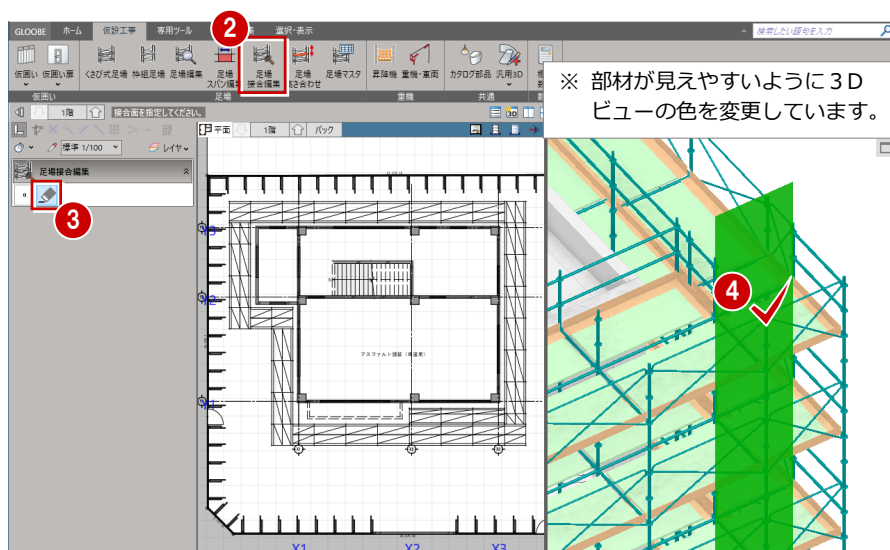
## 接合を解除する

① 「閉じる」をクリックして、足場編集画面を閉じます。



列を追加する前に接合されていたコーナー部の接合を解除します。

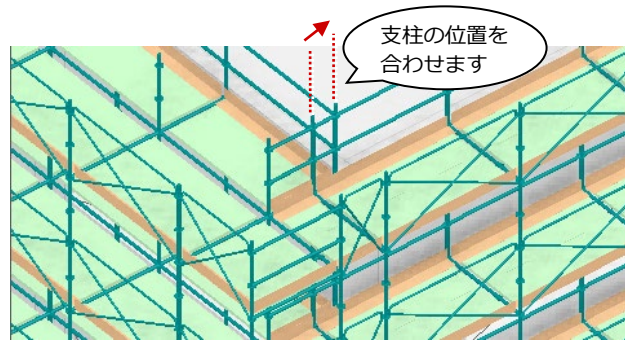
- ② 「足場接合編集」をクリックします。
- ③ 入力モードを「接合解除」に変更します。
- ④ 3Dビューに現在接合されている面がハイライト表示されるので、解除する接合面をクリックします。接合されていた足場が解除されます。



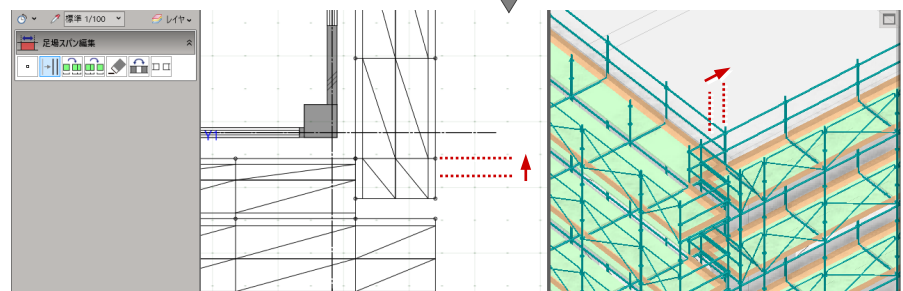
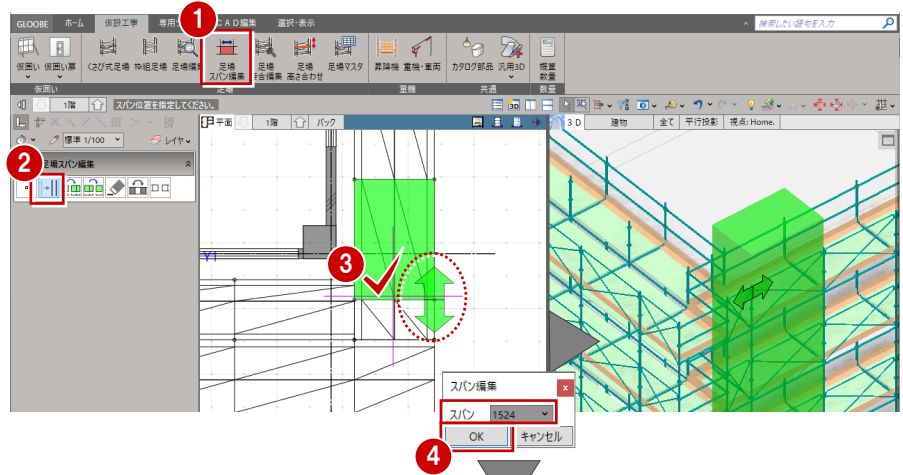
### 3 足場の編集

#### スパンを変更する

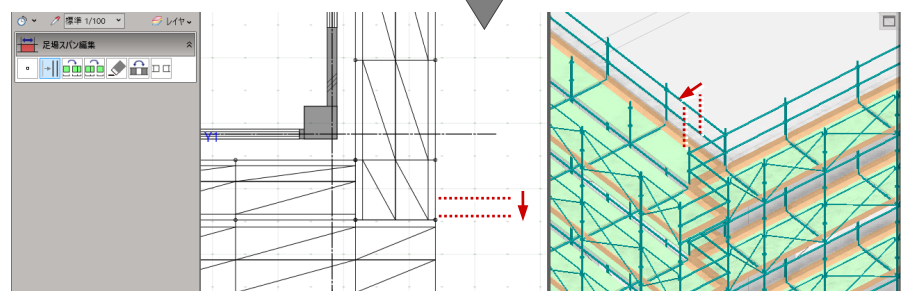
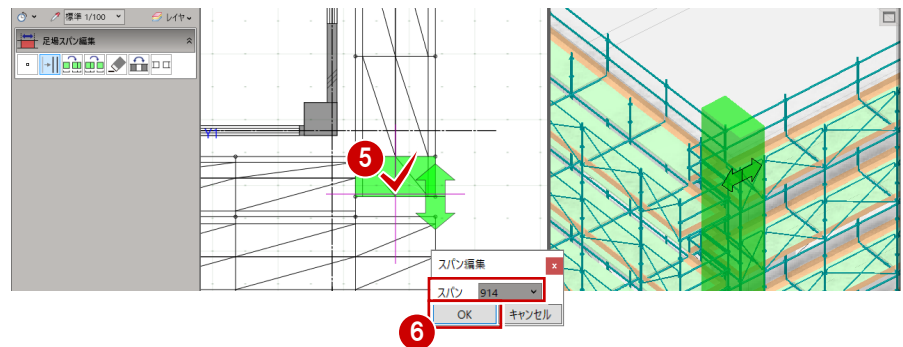
スパンを変更して、コーナー部の支柱の位置を合わせます。



- ① 「足場スパン編集」をクリックします。
- ② 入力モードを「編集」に設定します。
- ③ 平面ビュー、または3Dビューでスパンを変更する足場と変更位置を指定します。
- ④ スパンを「1524」に変更して「OK」をクリックします。



- ⑤ 続けて、スパンを変更する足場と変更位置を指定します。
- ⑥ スパンを「914」に変更して「OK」をクリックします。

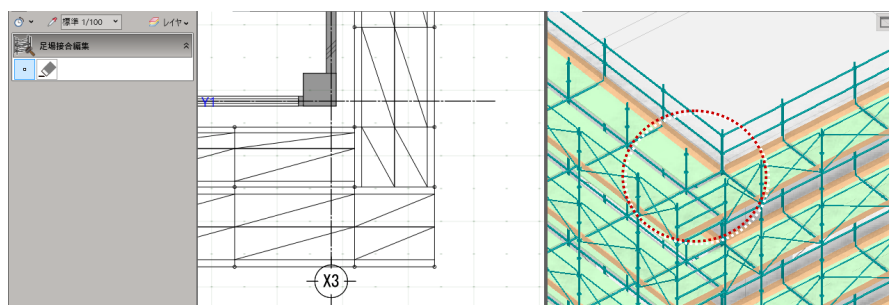
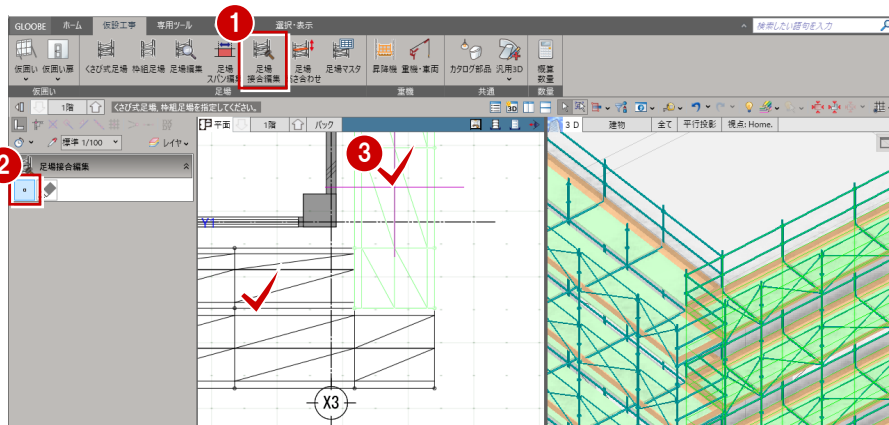




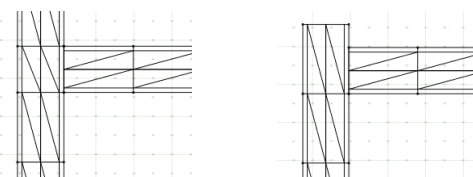
## 足場を接合する

① 「足場接合編集」をクリックします。

②③ 入力モードを「コーナー接合」に変更して、コーナー部の足場をそれぞれクリックします。  
コーナー部の手摺や幅木が取り除かれます。



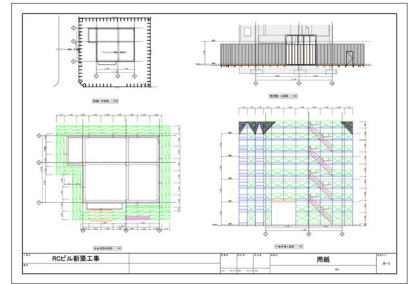
次のようなコーナー部は、「足場接合編集」で接合することができません。スパン変更や手摺・幅木などの部材の編集に対応します。



# 4 図面の作成

平面図、立面図をレイアウトして印刷しましょう。

※ この章の入力後のデータは「4\_仮設\_図面作成後.GLCM」を参照してください。

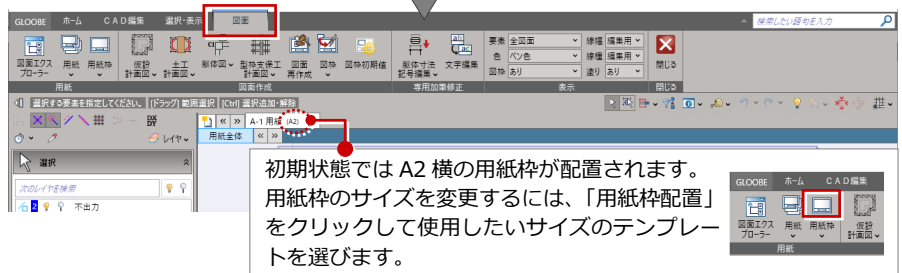


## 4-1 図面の作成

### 平面図をレイアウトする

#### 総合仮設計画図を配置する

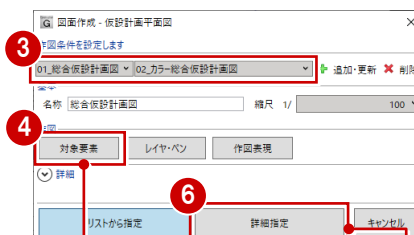
- 1 「ホーム」タブをクリックして「図面作成」を選びます。「図面」タブが開きます。



- 2 「仮設計画図」メニューから「平面図」を選びます。



- 3 テンプレートから「01\_総合仮設計画図」の「02\_カラー総合仮設計画図」を選びます。



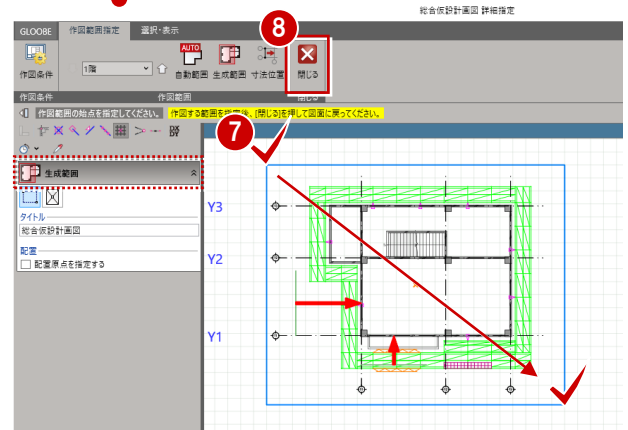
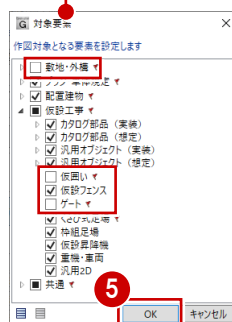
- 4 「対象要素」をクリックします。

- 5 「敷地・外構」と、「仮設工事」にある「仮囲い」と「ゲート」をOFFにして「OK」をクリックします。

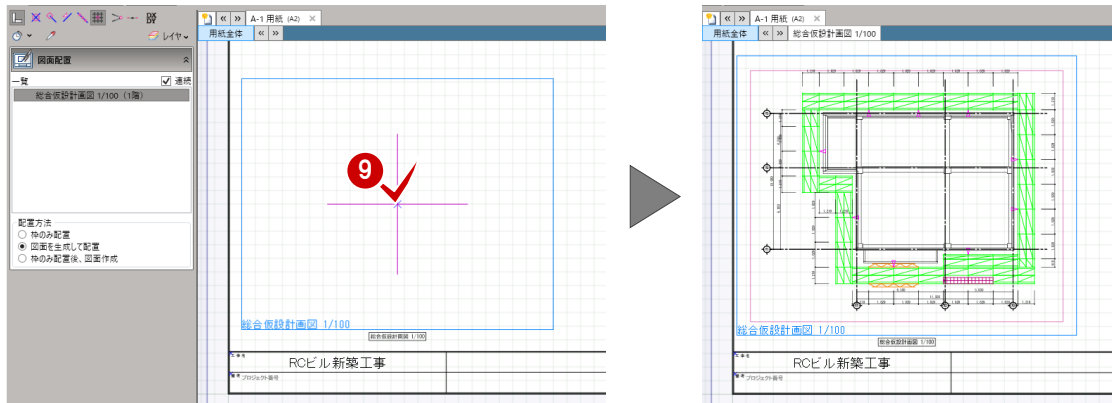
- 6 「詳細指定」をクリックします。

- 7 「生成範囲」コマンドが実行された状態になっているので、用紙にレイアウトする範囲を指定します。

- 8 「閉じる」をクリックします。



- 9 図面の配置位置をクリックします。  
任意の位置で構いません。



### 仮囲い計画図を配置する

- 1 「仮設計画図」メニューから「平面図」を選びます。



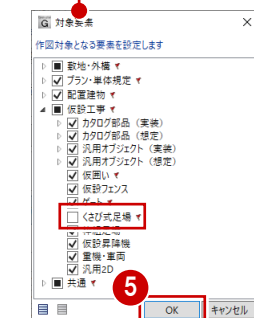
- 2 テンプレートから「01\_総合仮設計画図」の「01\_総合仮設計画図」を選びます。



- 3 名称を「仮囲い計画図」、縮尺を「1/200」に変更します。

- 4 「対象要素」をクリックします。

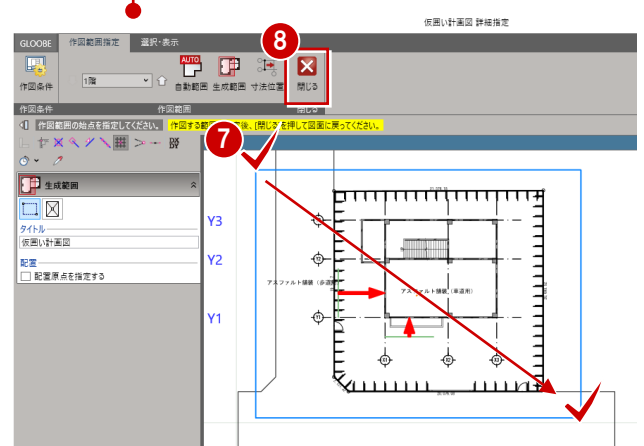
- 5 「仮設工事」にある「くさび式足場」をOFFにして「OK」をクリックします。



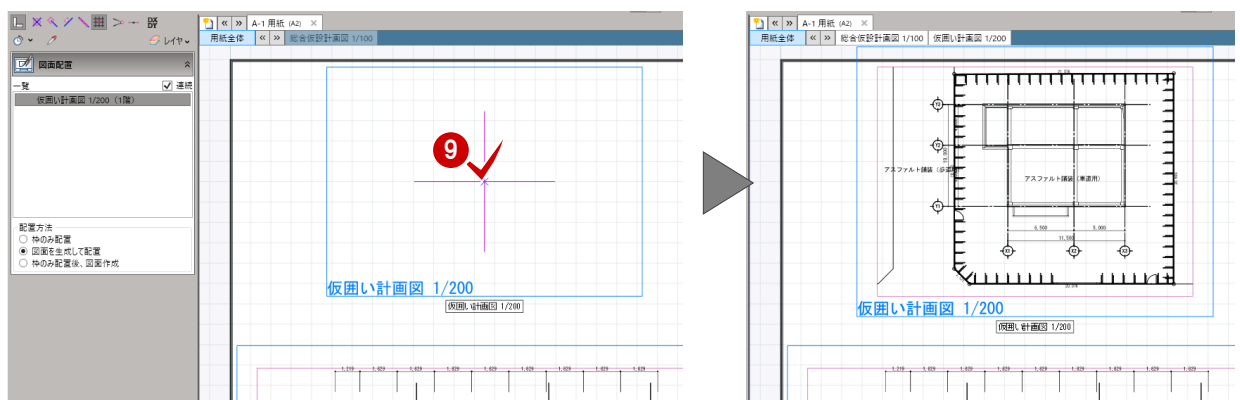
- 6 「詳細指定」をクリックします。

- 7 生成範囲を指定します。

- 8 「閉じる」をクリックします。



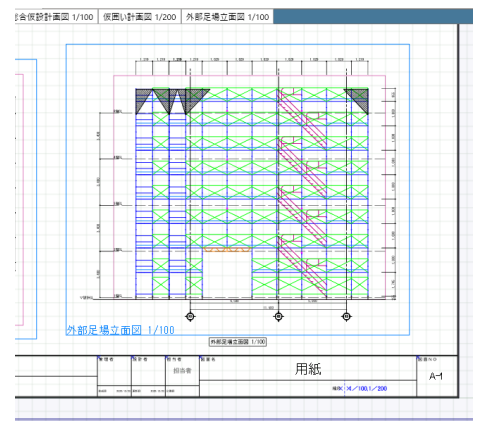
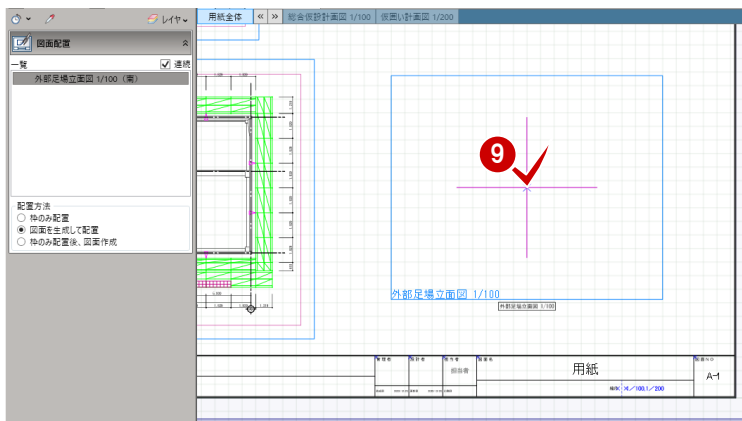
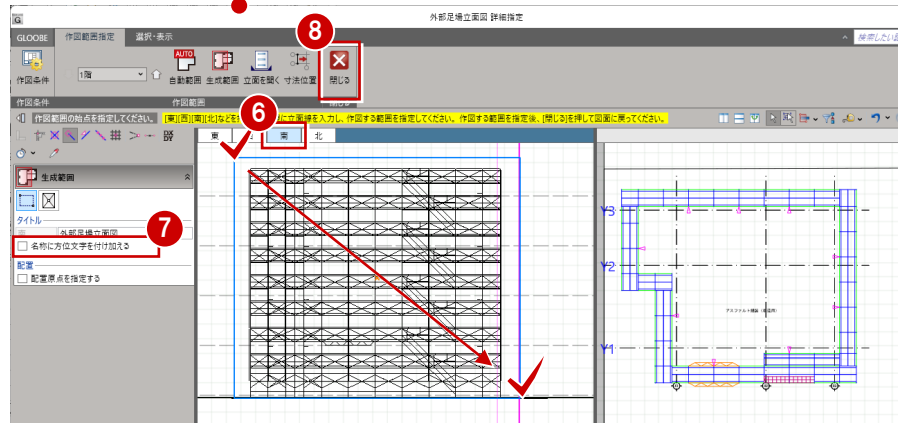
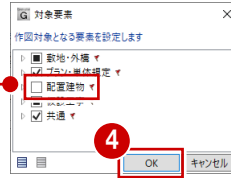
- 9 図面の配置位置をクリックします。



## 立面図をレイアウトする

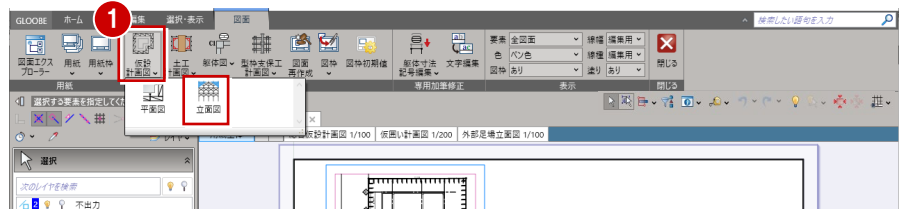
### 外部足場立面図を配置する

- ① 「仮設計画面」メニューから「立面図」を選びます。
- ② テンプレートから「01\_外部足場計画図」の「02\_カラー外部足場立面図」を選びます。
- ③ 「対象要素」をクリックします。
- ④ 「配置建物」をOFFにして「OK」をクリックします。
- ⑤ 「詳細指定」をクリックします。
- ⑥ 「南」をクリックして、生成範囲を指定します。
- ⑦ ここでは、「名称に方位文字を付け加える」をOFFにします。
- ⑧ 「閉じる」をクリックします。
- ⑨ 図面の配置位置をクリックします。

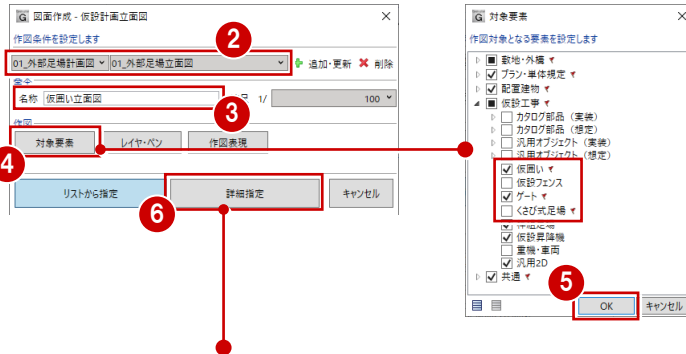


## 南仮囲い立面図を配置する

- ① 「仮設計画図」メニューから「立面図」を選びます。



- ② テンプレートから「01\_外部足場計画図」の「01\_外部足場立面図」を選びます。



- ③ 名称を「仮囲い立面図」に変更します。

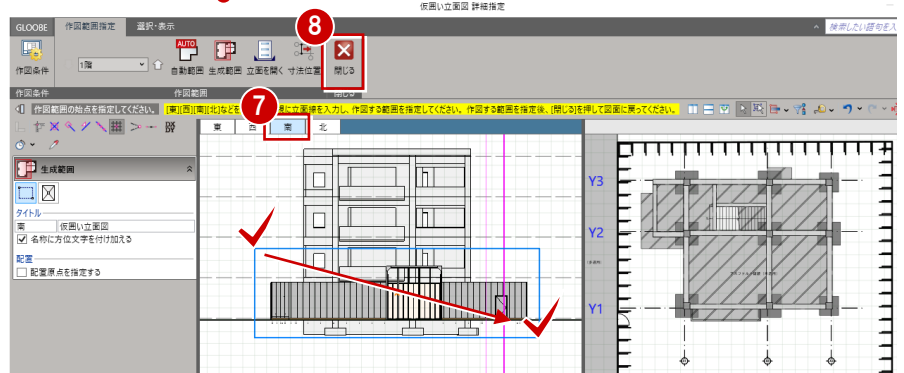
- ④ 「対象要素」をクリックします。

- ⑤ 「仮設工事」の「くさび式足場」をOFF、「仮囲い」と「ゲート」をONにして「OK」をクリックします。

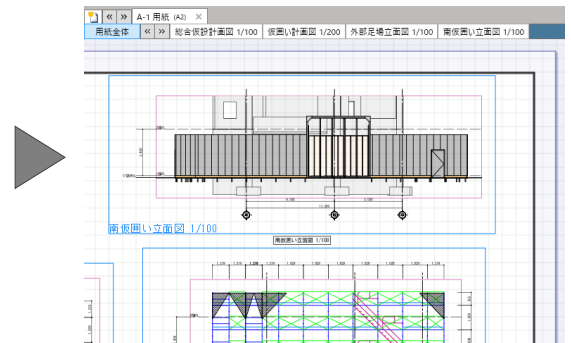
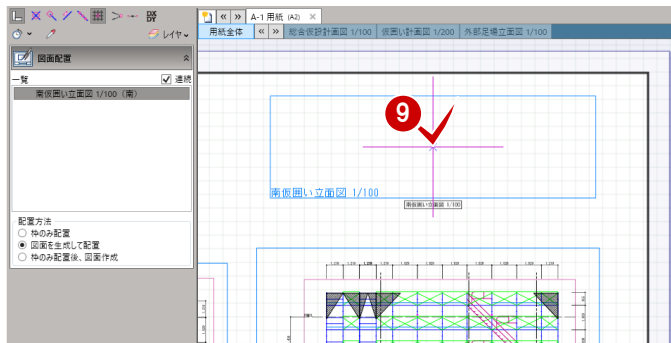
- ⑥ 「詳細指定」をクリックします。

- ⑦ 「南」をクリックして、生成範囲を指定します。

- ⑧ 「閉じる」をクリックします。

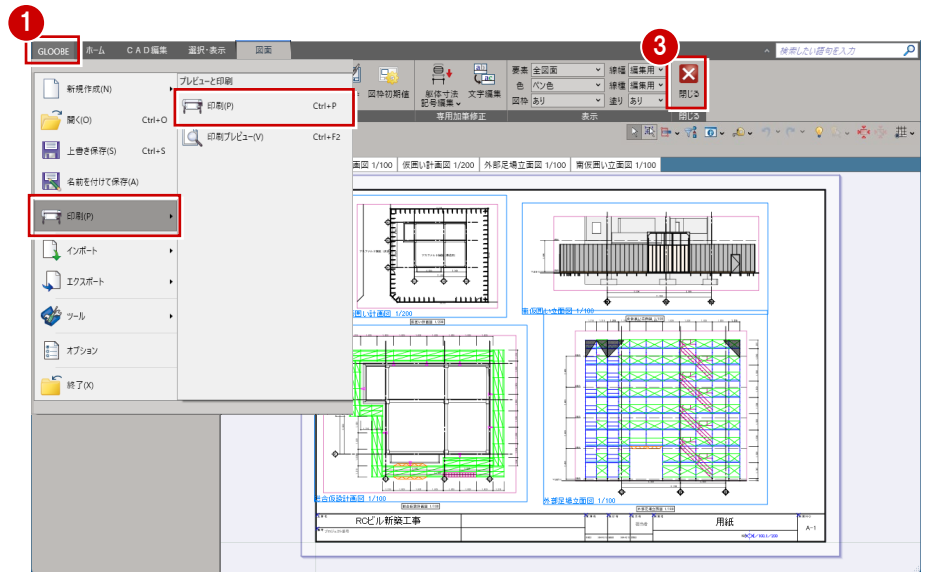


- ⑨ 図面の配置位置をクリックします。



## 4-2 図面の印刷

- ① GLOOBE ボタンをクリックして「印刷」メニューから「印刷」を選びます。



- ② 使用するプリンタを選んで「印刷」をクリックします。
- ③ 「閉じる」をクリックします。メインウィンドウに戻ります。



用紙サイズや用紙の向きは、使用するプリンタの「詳細設定」で設定します。